

超高齢社会における救急医療体制に関する  
アンケート調査結果

## <目次>

|   |                          |     |    |
|---|--------------------------|-----|----|
| 1 | 超高齢社会における救急医療体制に関するアンケート | ・・・ | 1  |
|   | 調査概要について                 |     |    |
| 2 | 超高齢社会における救急医療体制に関するアンケート | ・・・ | 3  |
|   | の調査結果                    |     |    |
| 3 | 調査依頼文及び調査票等              | ・・・ | 23 |
|   | (1) 調査依頼文                | ・・・ | 23 |
|   | (2) 調査票                  | ・・・ | 25 |
|   | (3) 参考資料                 | ・・・ | 33 |

## 超高齢社会における救急医療体制に関するアンケート調査概要について

### <概要>

今後、高齢者を中心に救急搬送の増加が見込まれている中で、超高齢社会における救急医療体制の現状の課題を抽出し、対応策を考える際の基礎資料とするため、救急医療機関を対象としてアンケート調査を実施しました。

### <アンケート対象>

横浜市二次・三次救急医療体制参加病院または救急告示医療機関

(全 66 医療機関)

※ 横浜市二次・三次救急医療体制参加病院: 56

※ 救急告示医療機関: 61 (横浜市救急医療体制 参加病院: 51・不参加病院 10)

### <依頼日>

平成 30 年 4 月 18 日

### <回答期限>

平成 30 年 5 月 11 日

### <回答率>

98% (65/66)



# 超高齢社会における救急医療体制に関するアンケートの調査結果

## 1 施設の機能について

(1) 救急医療体制種別(複数選択可)

| 種別      | 合計 |
|---------|----|
| 拠点病院A   | 11 |
| 拠点病院B   | 13 |
| 一般輪番病院  | 19 |
| 小児輪番病院  | 8  |
| 疾患別医療体制 | 40 |
| 三次救急病院  | 9  |
| 救急告示病院  | 60 |

(2) 医療機能(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)ごとの病床数(複数選択可)

|             | 高度急性期 |       |       | 急性期   |       |       | 回復期   |       |       | 慢性期   |       |       |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             | あり    | 平均病床数 | なし    | あり    | 平均病床数 | なし    | あり    | 平均病床数 | なし    | あり    | 平均病床数 | なし    |
| 救命救急センター(9) | 100%  | 280床  | 0%    | 88.9% | 321床  | 11.1% | 0%    | 0床    | 100%  | 33.3% | 28床   | 66.7% |
| 拠点病院A(11)   | 81.8% | 369床  | 18.2% | 81.8% | 267床  | 18.2% | 0%    | 0床    | 100%  | 36.4% | 28床   | 63.6% |
| 拠点病院B(13)   | 23.1% | 8床    | 76.9% | 100%  | 227床  | 0%    | 38.5% | 64床   | 61.5% | 15.4% | 50床   | 84.6% |
| 輪番病院(19)    | 5.3%  | 654床  | 94.7% | 84.2% | 94床   | 15.8% | 36.8% | 65床   | 63.2% | 42.1% | 63床   | 57.9% |
| 全体(65)      | 26.2% | 246床  | 73.8% | 90.8% | 159床  | 9.2%  | 33.8% | 67床   | 66.2% | 27.7% | 53床   | 72.3% |

(3) 地域包括ケア病棟入院料または地域包括ケア入院医療管理料の施設基準の届出

(4) 在宅療養支援病院の施設基準の届出

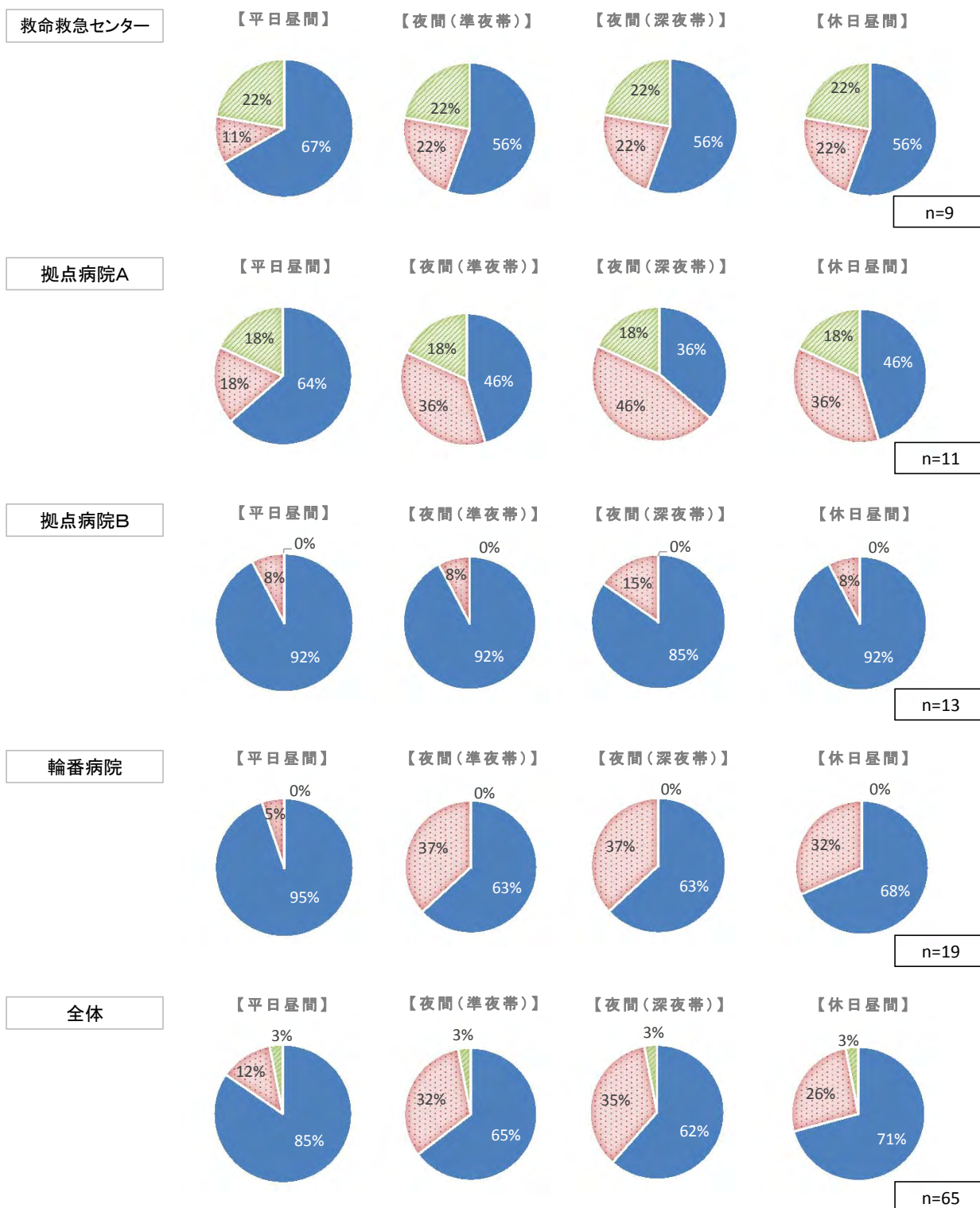
(5) 在宅療養後方支援病院の施設基準の届出

|             | (3) 地域包括ケア病棟入院料または地域包括ケア入院医療管理料の施設基準の届出 |           |           |           |           |           | (4) 在宅療養支援病院の施設基準の届出 |           |           |           |           |           | (5) 在宅療養後方支援病院の施設基準の届出 |           |           |           |       |       |
|-------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
|             | している                                    |           | していない     |           |           |           | している                 |           | していない     |           |           |           | している                   |           | していない     |           |       |       |
|             | 平均病床数                                   | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】            | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】              | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 | 【今後の届出意向】 |       |       |
|             |   |           |           |           |           |           |                      |           |           |           |           |           |                        |           |           |           | 予定あり  | 予定なし  |
| 救命救急センター(9) | 0%                                      | 0床        | 100%      | 11.1%     | 66.7%     | 22.2%     | 0%                   | 100%      | 0%        | 0%        | 0%        | 100%      | 0%                     | 100%      | 0%        | 66.7%     | 33.3% | 0%    |
| 拠点病院A(11)   | 9.1%                                    | 34床       | 90.9%     | 0%        | 60%       | 40%       | 0%                   | 100%      | 0%        | 0%        | 0%        | 100%      | 18.2%                  | 81.8%     | 0%        | 44.4%     | 55.6% | 0%    |
| 拠点病院B(13)   | 30.1%                                   | 60床       | 69.2%     | 0%        | 33.3%     | 66.7%     | 15.4%                | 84.6%     | 0%        | 0%        | 9.1%      | 90.9%     | 38.5%                  | 61.5%     | 12.5%     | 12.5%     | 37.5% | 37.5% |
| 輪番病院(19)    | 47.4%                                   | 33床       | 52.6%     | 0%        | 30%       | 70%       | 36.8%                | 63.2%     | 16.7%     | 0%        | 58.3%     | 25%       | 0%                     | 100%      | 0%        | 0%        | 21.1% | 78.9% |
| 全体(65)      | 36.9%                                   | 44床       | 63.1%     | 4.9%      | 41.5%     | 53.7%     | 24.6%                | 75.4%     | 6.1%      | 2%        | 34.7%     | 57.1%     | 12.3%                  | 87.7%     | 1.8%      | 12.3%     | 22.8% | 63.2% |

## 2 救急搬送の受入状況

(1) 現在の救急搬送の受入余力について伺います。

■ 受入余力がまだある ■ 受入余力がほとんどない ■ 余力を超える受入要請がある



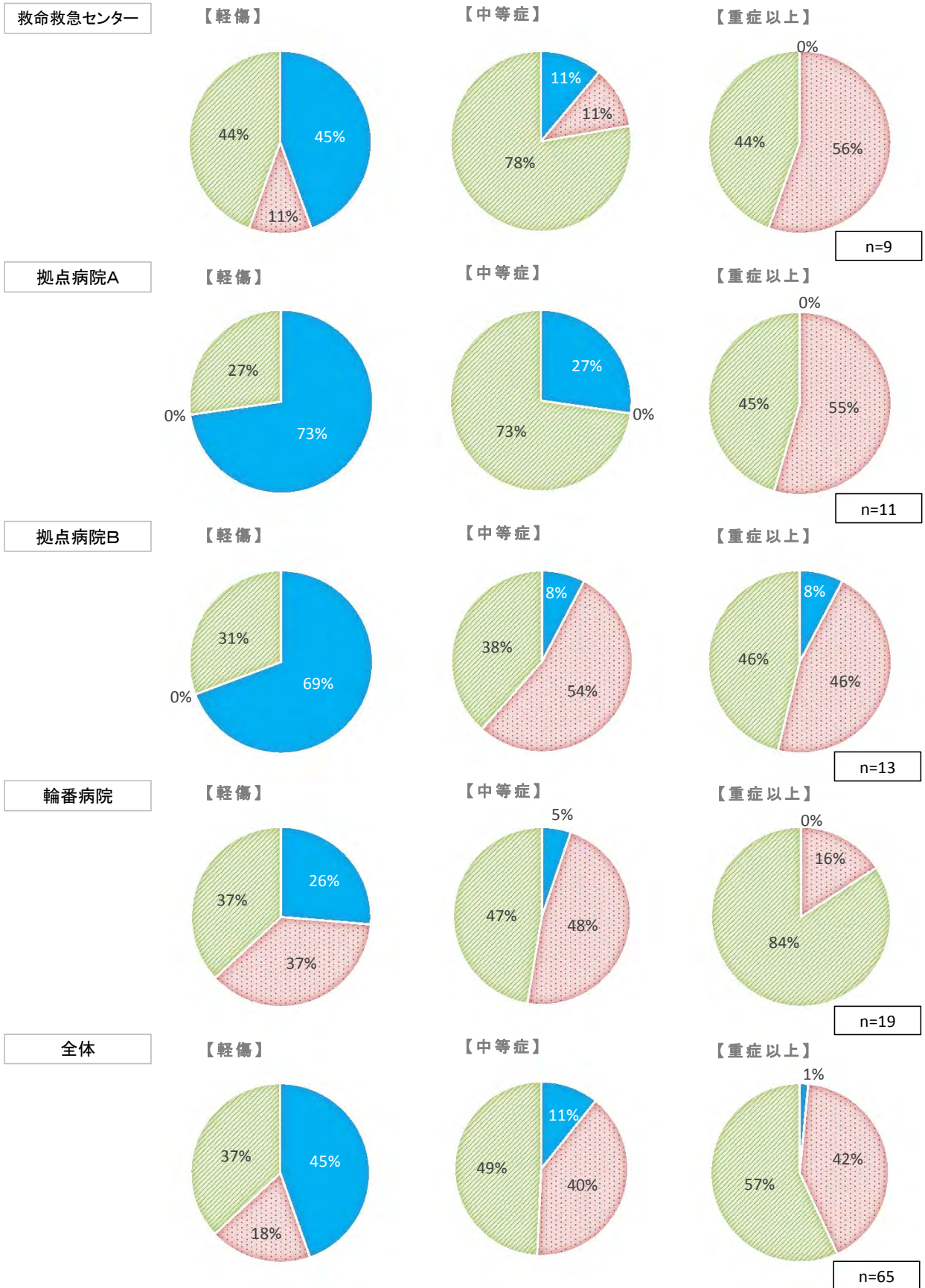
### その他、自由意見欄

季節性、病棟の稼働状況により困難な場合もある。

受け入れる設備は整っているが、現状当直医が翌日も継続して診療を行う体制であるため、受け入れた場合、翌日の診療体制に不安がある。医師の働き方を見直す必要がある。 など

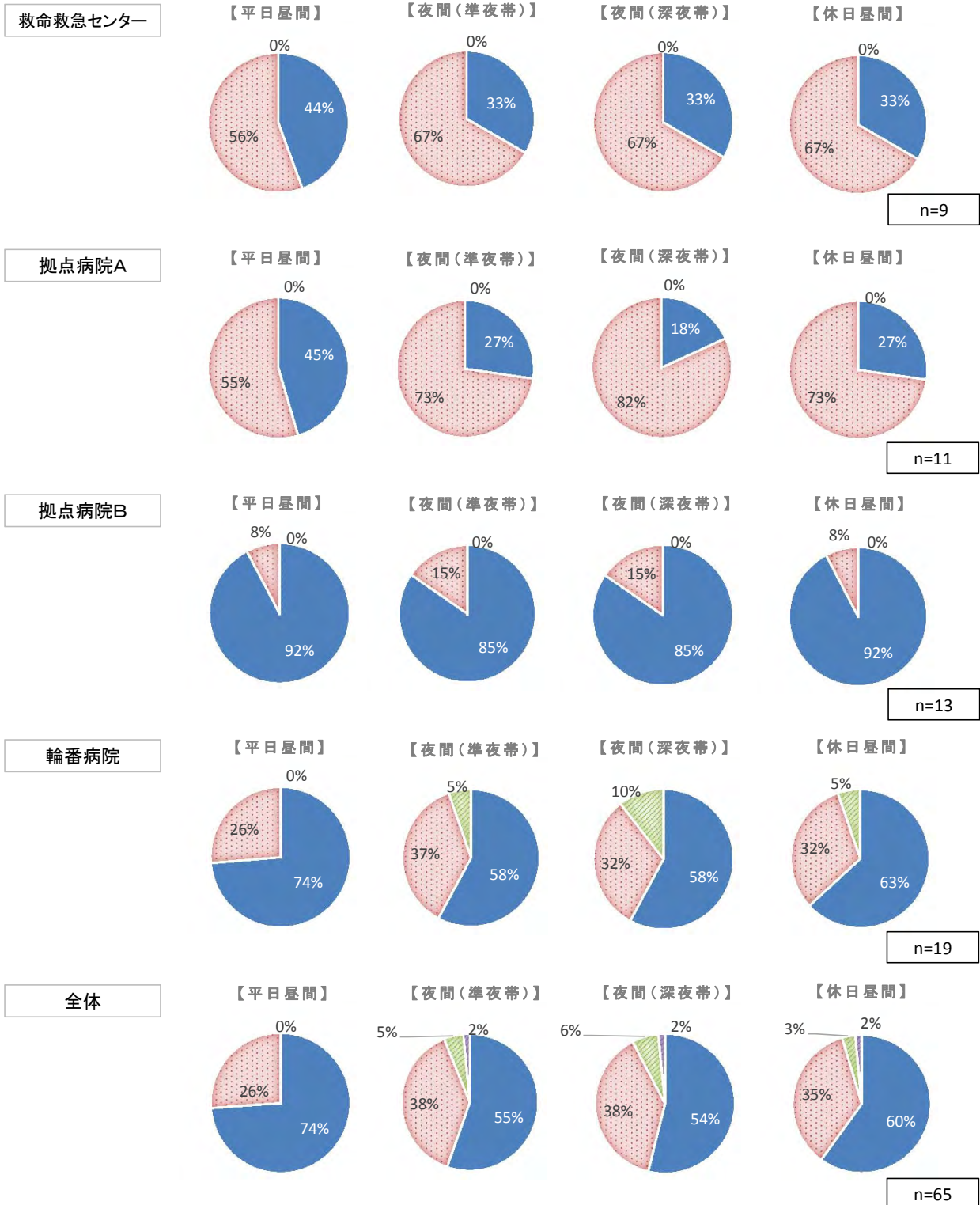
(2) 現在の救急搬送患者の傷病程度別(軽症・中等症・重症以上)の受入状況について伺います。

■ 多く感じる    ■ 少なく感じる    ■ 現状程度で適当である



(3) 今後、昼間帯を中心に、高齢者の救急需要の増加が見込まれています。救急搬送の今後の受入の意向について伺います。

■ より積極的に受け入れていきたい ■ 現在と同程度の受入が望ましい ■ 縮小の方向で考えている ■ 未回答



**その他、自由意見欄**

かかりつけがあっても夜間受付が難しければ、診断・一泊入院を担当せざるを得ない。  
 継続入院に関しては、かかりつけ転院で対応してほしい。

積極的な治療を希望されない方への対応で余裕がないと感じている。

縮小するつもりはないが、独居や老老介護などの社会的問題が多い。

救急車対応が重ならない限り、受入は十分に可能である。

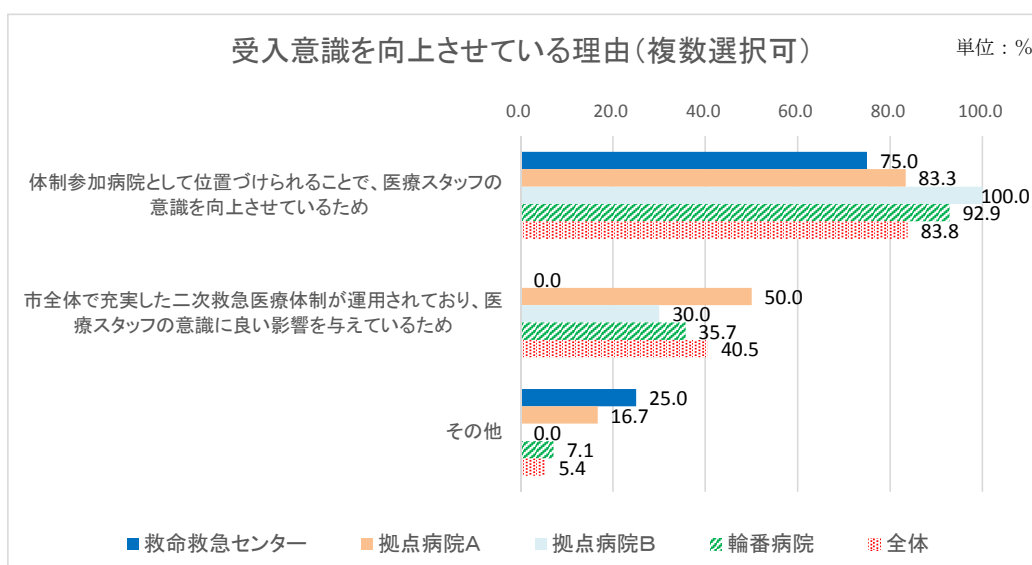
高齢者医療の課題として救急搬送された高齢者の治療方針や後方支援などを含め、受け入れ後の体制を検討する必要がある。 など



### 3 横浜市「二次救急拠点病院A・B及び一般輪番病院(内科・外科)」体制について

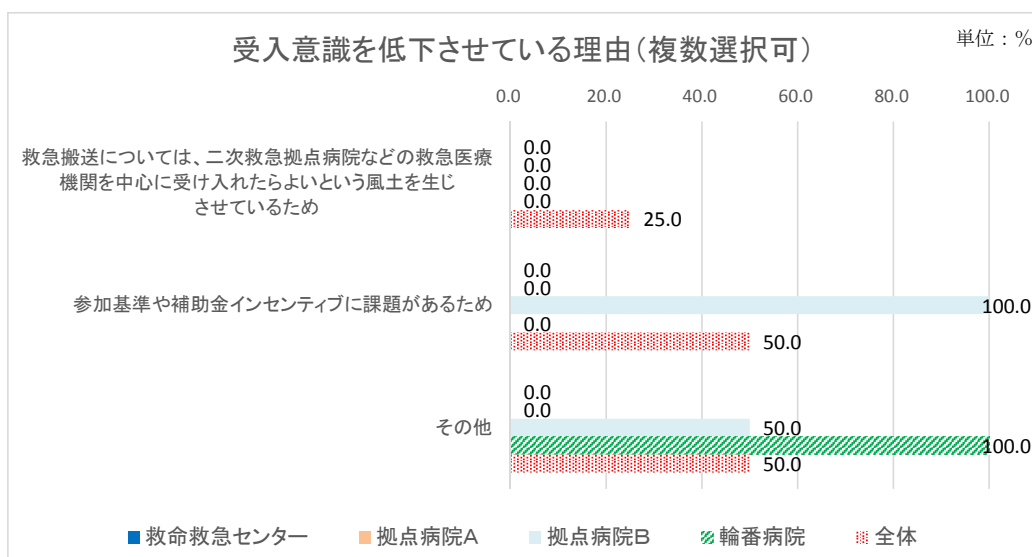
(1) 平成22年度から運用が開始されている「二次救急拠点病院A・B及び一般輪番病院(内科・外科)」体制は、貴院での救急搬送の受入意識にどのような影響を与えていますか。

|             | 受入意識を向上させている | 受入意識を低下させている | どちらとも言えない |
|-------------|--------------|--------------|-----------|
| 救命救急センター(9) | 44.4%        | 0%           | 55.6%     |
| 拠点病院A(11)   | 54.5%        | 0%           | 45.5%     |
| 拠点病院B(13)   | 76.9%        | 15.4%        | 7.7%      |
| 輪番病院(19)    | 73.7%        | 5.3%         | 21.1%     |
| 全体(65)      | 56.9%        | 6.2%         | 36.9%     |



#### その他(具体的に記載)

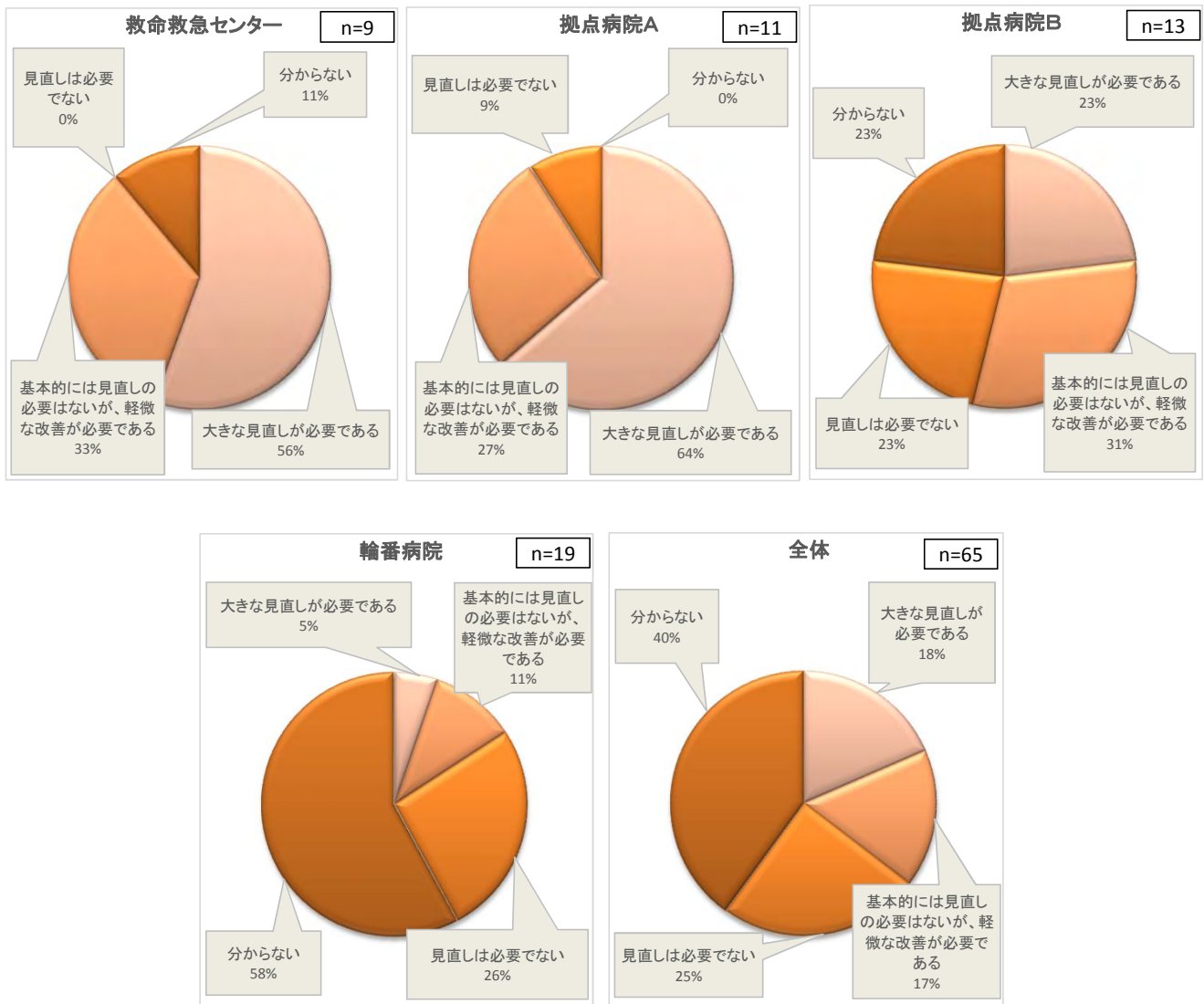
救急患者を積極的に受け入れることで病院の評価が高まり、収益性も向上する。 など



#### その他(具体的に記載)

受入態勢は整えているが、問合せが少ないため。 など

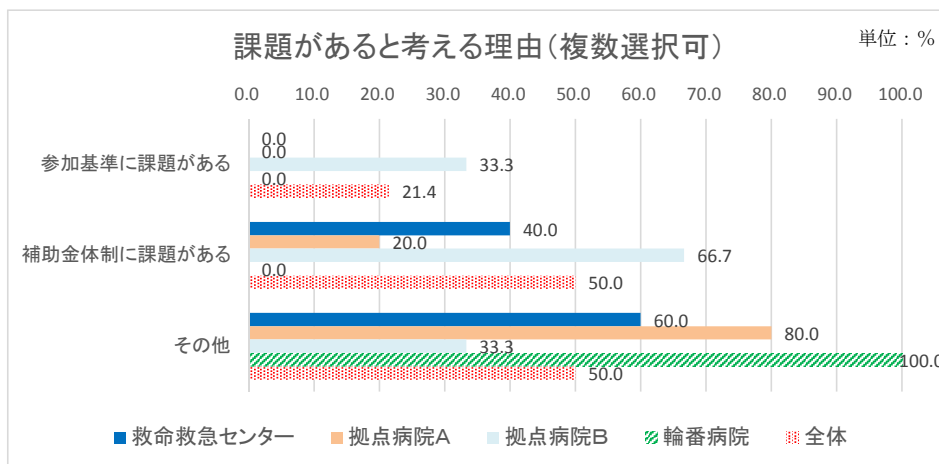
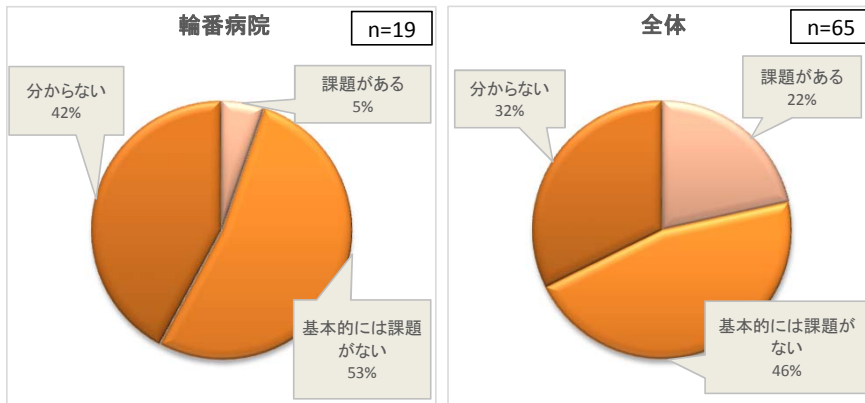
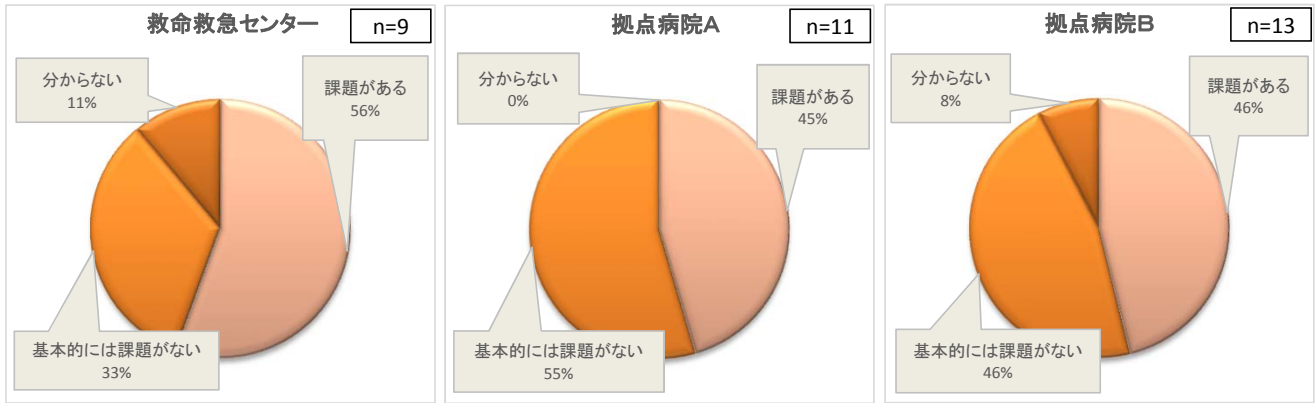
(2) 今後、高齢者を中心に救急搬送の増加が見込まれている中で、「二次救急拠点病院A・B及び一般輪番病院(内科・外科)」体制を見直す必要はあると思いますか。



| 大きな見直しが必要である (改善策等を具体的に記載)  |
|---|
| 入口問題だけでなく、出口問題にも包括した救急体制が必要。  |
| 横浜市内の地域毎での受け入れ態勢(病病連携)の整備が必要である。  |
| 症度別救急の厳密運用、2次救急医療機関の共同運用(地域の医療従事者の業務参加)、在宅見取りの強化。   |
| 拠点Aと拠点Bの差は医師数の考慮と診療内容の考慮が必要。拠点Bには医師数2人でも良いということになっている。当院は4~5名であり、せめて拠点Aと拠点Bの中間を作るか、A、Bをなくすかしてほしい。 |
| 施設基準をなくし、単純に年間救急車受入台数に応じた補助金交付にすべき。 など  |

| 基本的には見直しの必要はないが、軽微な改善が必要である (改善策等を具体的に記載)               |
|---|
| それぞれの病院が受け入れを断った理由が、拠点病院・輪番病院として適切なのかを検証すべき。            |
| 医療資源としての高齢者救急の入院ベッドの(少なくとも情報での)共有化。                     |
| 拠点病院と輪番病院の役割分担(軽症な高齢者は輪番病院を優先するなど)。                     |
| お看取りなど要請が増加すると懸念されており、多様な疾病構造への対応だけでなく、救急体制にも多様性が求められる。 |
| 拠点病院で夜間帯に受けた高齢者を病状が軽い場合は、翌日速やかに輪番病院に転送するシステムを作る。        |
| 多数受け入れている病院への補助金増額。 など                                  |

(3) 現行の「二次救急拠点病院A・B」体制に課題があると思いますか。(複数選択可)

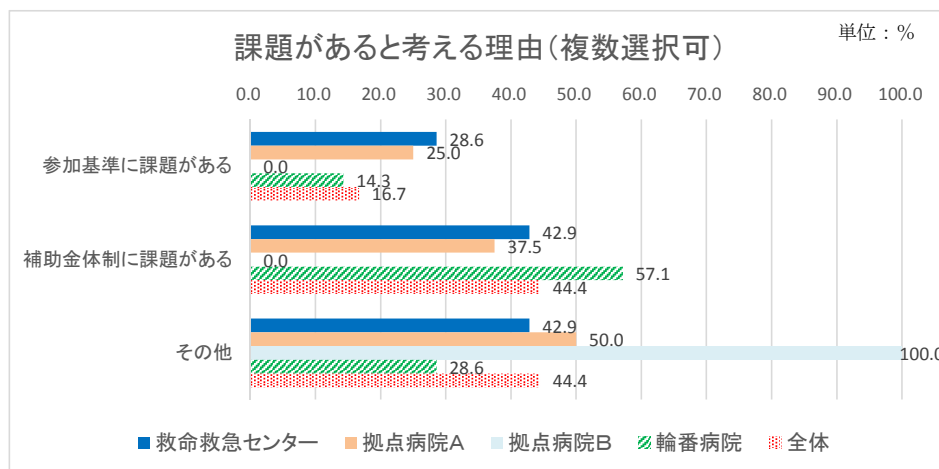
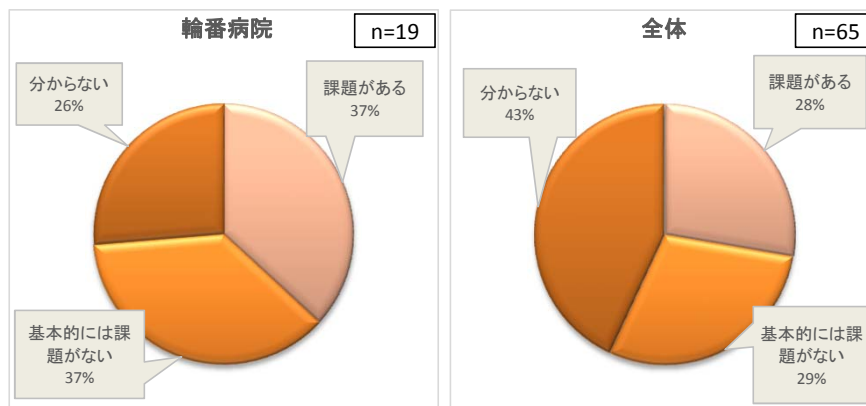
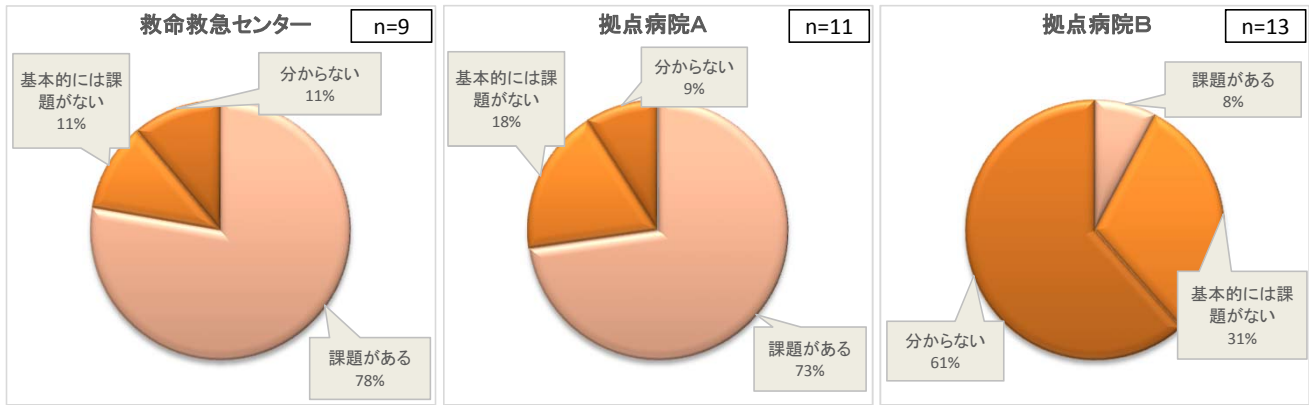


| 参加基準に課題がある<br>(課題・改善策等を具体的に記載)               |
|--|
| 拠点病院Aは中等症以上、拠点病院Bは中等症以下、軽症というくくりは、科によっては異なる。 |
| 特に基準を設ける必要はない。                               |
| 人員、体制に対して、確保が難しい。 など                         |

| 補助金体制に課題がある<br>(課題・改善策等を具体的に記載)              |
|--|
| 二次救急拠点病院の中でも受入台数の多い階層の上限をもっと引き上げるべき。         |
| 夜間、休日の受入台数ではなく年間通じての受入台数に応じた補助金にするべき。        |
| 補助金額に対し、非常勤当直医のコストのほうを上回っており、体制を維持するのが困難。    |
| 救急患者の受け入れ状況に見合った補助金(受入れが少ないなら減額する等)とする必要がある。 |
| 件数がもう少し少なくても補助金があるとありがたい。 など                 |

| その他(具体的に記載)  |
|--|
| 輪番病院の実績が報告されておらず、実態が不明。増加する救急を受入れていくためには拠点病院との役割分担が必要。 |
| 軽症患者が多くなると重症患者が受けられなくなる。                               |
| 救急搬送患者が拠点病院に集中し過ぎているのではないかと。                           |
| かかりつけは各病院で対応すべき。 など                                    |

(4) 現行の「一般輪番病院(内科・外科)」体制に課題があると思いますか。(複数選択可)



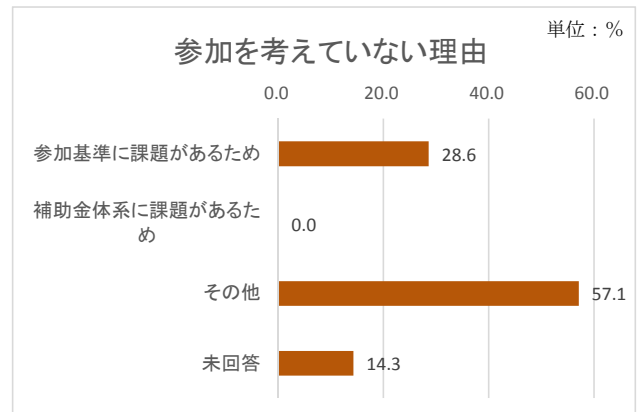
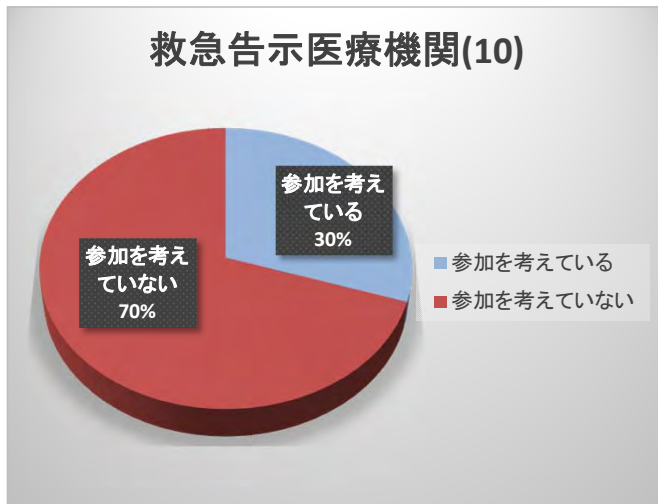
**参加基準に課題がある**  
(課題・改善策等を具体的に記載)  
一泊入院後の継続入院先として機能してほしい。  
外科でなく、外科系として整形外科も含めることも検討してほしい。など

**補助金体制に課題がある**  
(課題・改善策等を具体的に記載)  
診療体制・診療能力として実力に差があり、差別化をもっと図るべき。  
看護師・薬剤師・検査・事務体制の充実の為、補助金の増額を希望。  
断った事例は多くないと思っているが、搬送が少ない。人員体制は整えているので人件費がマイナスとなる。可能であれば、参画しているだけで少額でも構わないので補助金を出していただけると助かる。など

**その他(具体的に記載)**  
二次救急拠点病院A B体制で足りるのではないかと。  
十分に機能していないと思われる。  
救急医療に関する医局員の意識向上を目指すためにも輪番病院としての年間実績、補助金等について配慮してもらいたい。  
輪番に関係なく救急の要請がある。  
輪番日でも救急搬送患者が少ない。  
横浜市という広い範囲に1、2施設を当番させても実際は搬送されていない状況である。月に夜間に1回ではなく、毎日参画してほしい。など

《1(1)「救急医療体制種別」で「7 救急告示医療機関」のみにチェックがついている医療機関のみ、お答えください。》

(5) 今後、「二次救急拠点病院A・Bまたは一般輪番病院(内科・外科)」に参加することを考えていますか。



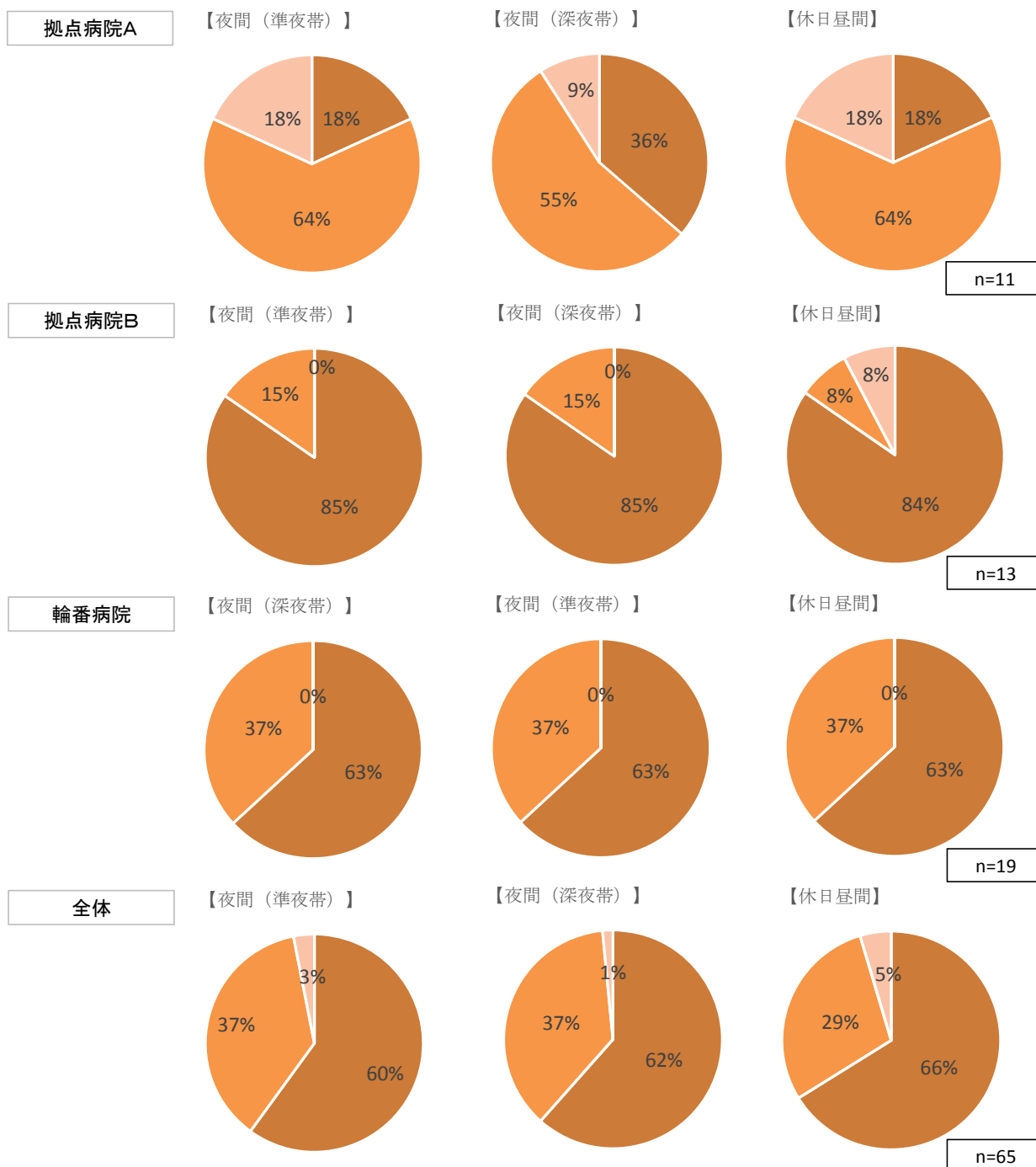
**参加基準に課題があるため  
(課題・改善策等を具体的に記載)**  
当番日の職員の人数等。 など

**その他 (具体的に記載)**  
医師不足のため。  
外科医師の当直医としての確保が困難。 など

#### 4 夜間・休日昼間のウォークイン患者の受入状況

(1) 現在の夜間・休日昼間のウォークイン患者の受入余力について伺います。

- 受入余力がまだある
- 受入余力がほとんどない
- 余力を超えるウォークイン患者の来院がある



#### その他、自由意見欄

ER型救急を行っていく上で救急車搬送患者に対応するためには広報してまでウォークイン患者を診るのは困難。

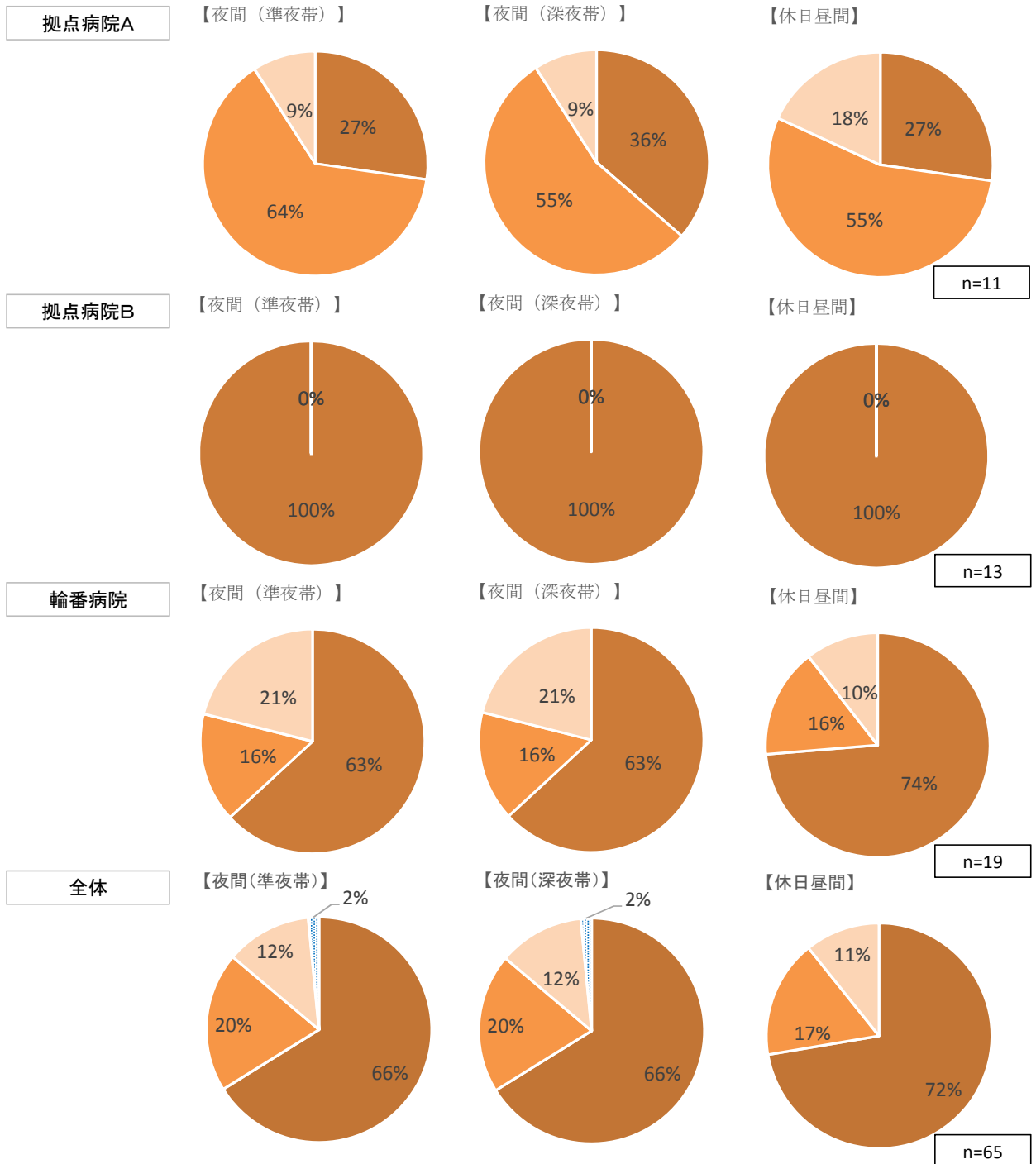
小児救急が多く、あふれかえっていることが多い。

多数の患者が重なって来院した場合には、待ち時間がかかると思うが対応可能。

診療科は内科、外科に限定される。 など

(2) 今後の夜間・休日昼間のウォークイン患者の受入について伺います。

- ウォークイン患者が今以上に増加したとしても、しっかりと受け入れていきたい
- ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることができるか不安である
- ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることは困難である
- 未回答



**その他、自由意見欄**

たいていの医師は翌日も通常勤務のため難しい。

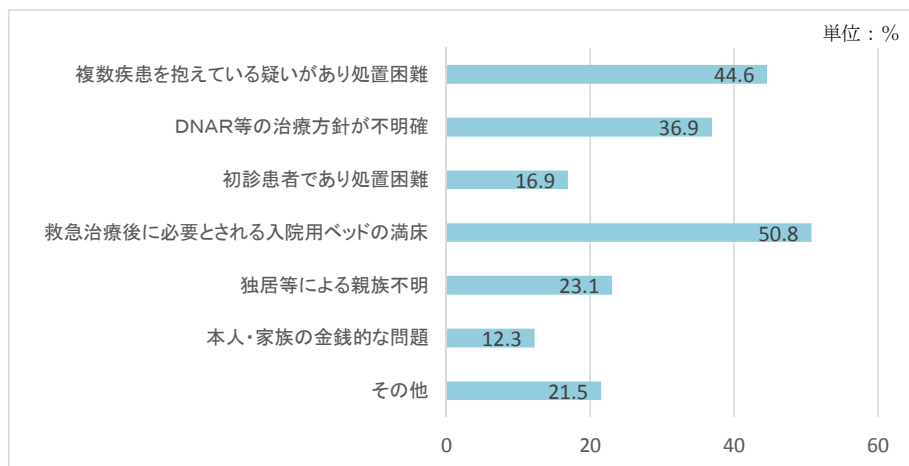
現在、救急外来の看護師は夜間休日は原則3人で対応しているが、患者が増えるようであれば増員して対応することも考えたい。

複数の救急車搬送のタイミングと重なると対応できない事例がある。#7119や情報センターから患者を紹介される際、Y M I S、PALの連携の中でもう少し効率化できるのではないかと思います。

夜間は受入できないため回答不可。 など

## 5 病病連携等について

(1) 高齢者の救急搬送の受入要請があった際に、受入が困難となる主な理由は何ですか。(複数選択可)



### その他（具体的に記載）

入院の長期化。転院先がなく、後方ベッドが不十分である。

高度救命処置の希望がなく、転院も嫌という患者。

治療の必要がない患者の保護入院や希望入院が多いため。

医慮的な問題ではなく社会的な問題で入院適応となる高齢者が多いのが現状であり、そのような入院に適したベッドを確保することができていない。

身体疾患に精神疾患の合併症がみられる場合。

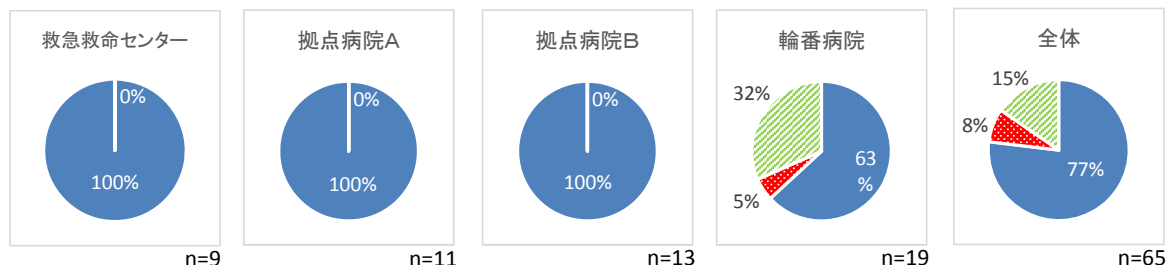
認知症（不穏・問題行動）がある患者の受け入れの際、個室等の病室調整が必要となる。 など

(2) 救急搬送のあった高齢者患者は、他の年代に比べて入院が長期化していますか。

■ 入院長期化している

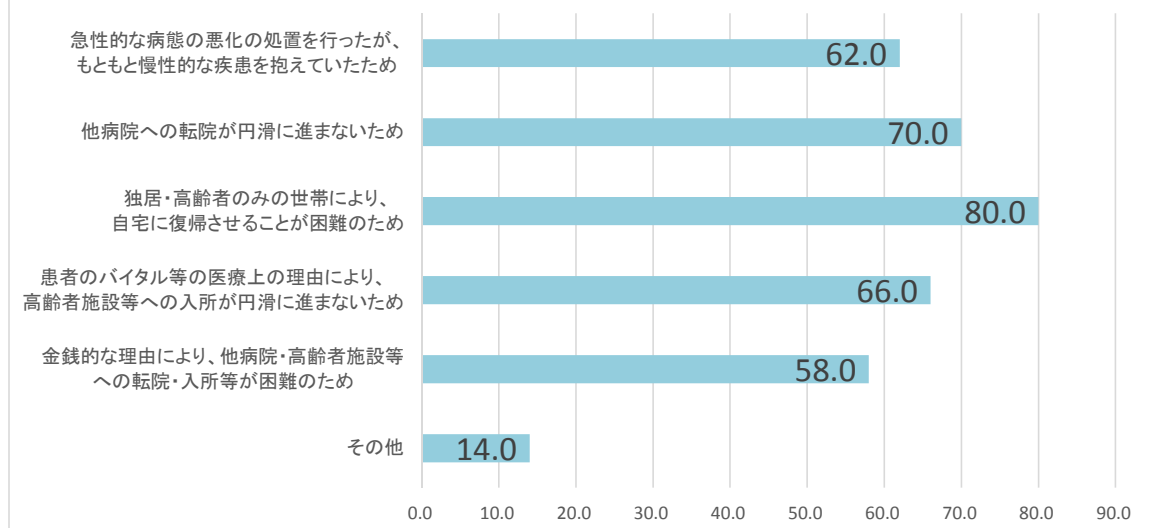
■ 長期化していない

■ どちらとも言えない



### 長期化していると考える理由(複数選択可)

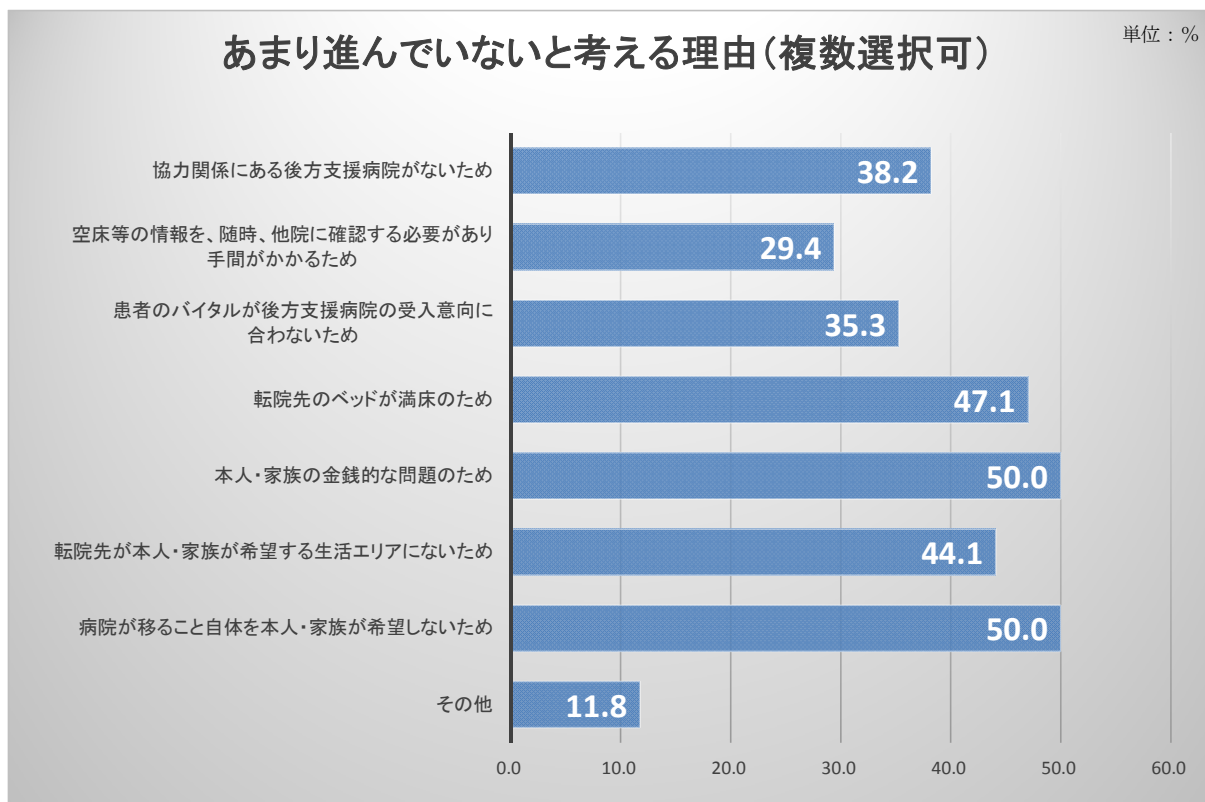
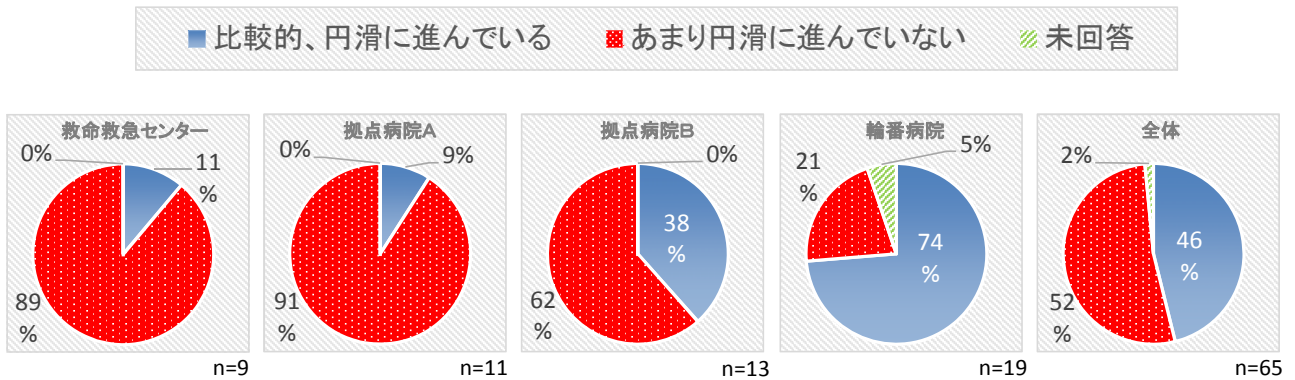
単位：%





| その他（具体的に記載）   |
|---|
| 転院に関して、家族の理解が得られにくい。患者の家族受入が困難。                                   |
| 家族の協力関係、健康問題など退院支援が進まない要因が増えている。                                  |
| 受け入れる病院や施設が設ける基準や要求が多すぎるため。                                       |
| 金銭的理由の他、親族の確認または後見人が決定しないと他病院・高齢者施設等への転院・入所等が困難だが、それに関する行政の動きが遅い。 |
| 認知症合併患者が増加しているため。   |
| 法改正等により在宅調整等に時間がかかる。 など   |

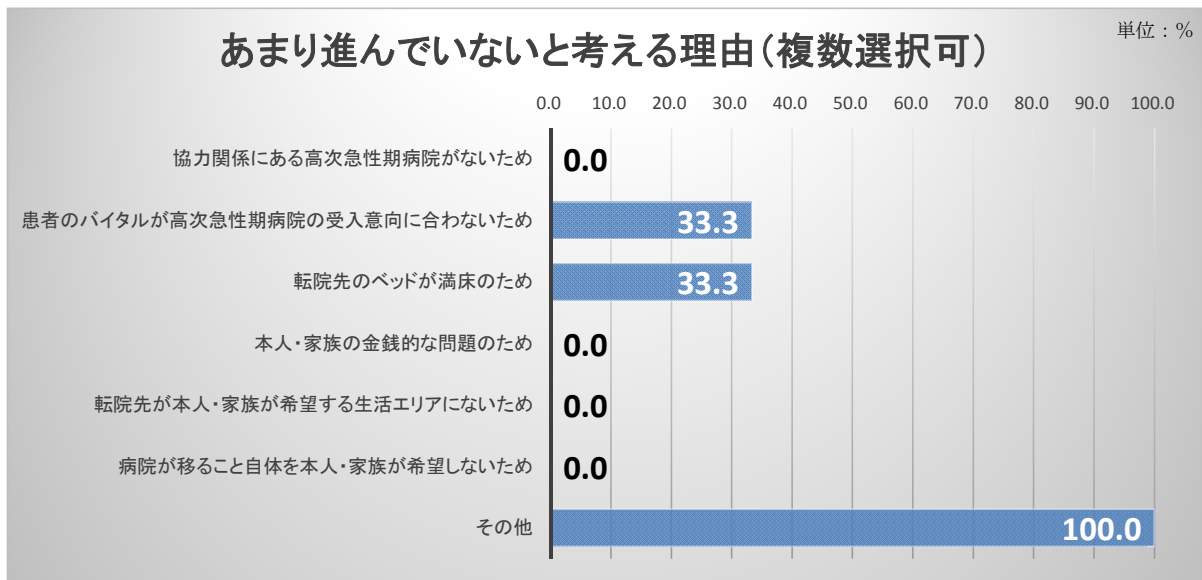
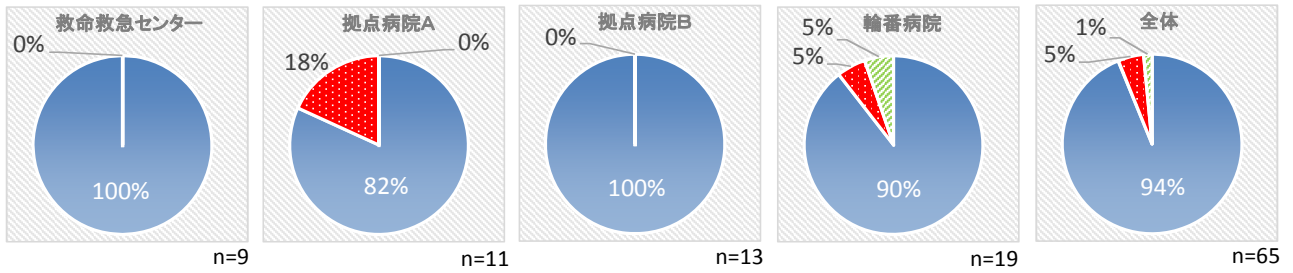
(3) 貴院から後方支援病院への転院は円滑に進んでいますか。



| その他（具体的に記載）                     |
|---------------------------------|
| キーパーソンがいない単身者が多い。               |
| 退院調整が必要な高齢者の増加に対し、病院MSWが不足している。 |
| 後方支援病院がないため。 など                 |

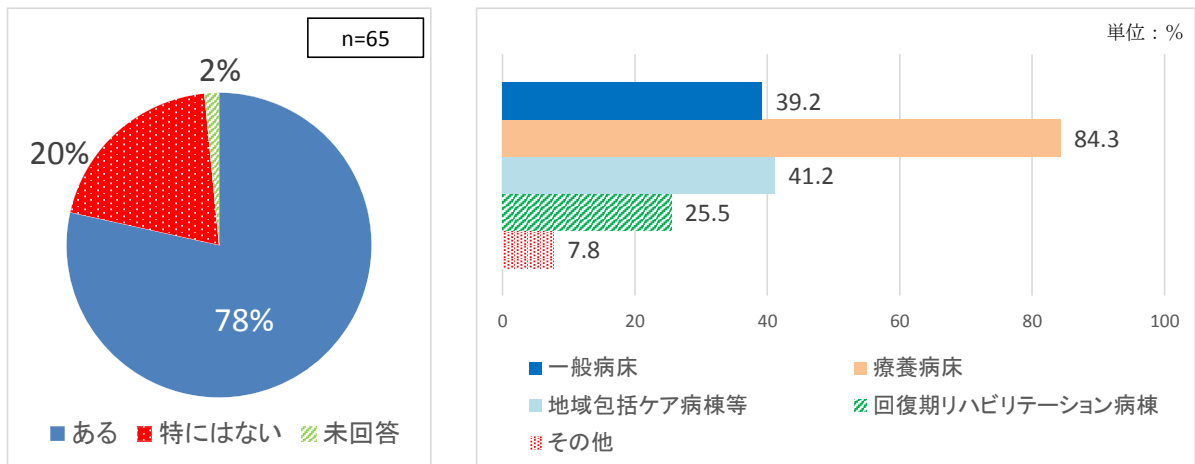
(4) 貴院から高次急性期病院への転院は円滑に進んでいますか。

■ 比較的、円滑に進んでいる ■ あまり円滑に進んでいない ■ 未回答



**その他 (具体的に記載)**  
 寝たきりなどは治療の適応がないとされる。 など

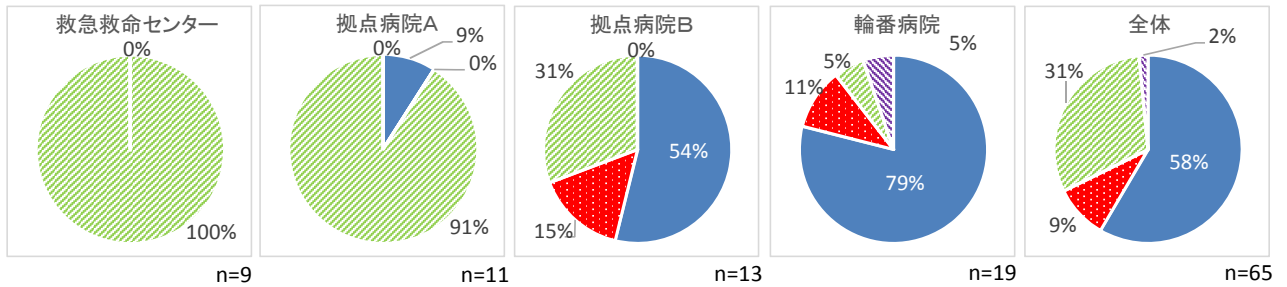
(5) 後方支援病院への転院で、特に必要と感じる病床はありますか。(複数選択可)



**その他 (具体的に記載)**  
 医療処置ができる介護施設、医療区分1でも受け入れてくれる病院がほしい。  
 どうしても申込みからの時間がかかってしまうが、最近は当院MSWも積極的に動いており、以前よりは短縮されている。 など

(6) 後方支援病院として、病状が安定した救急患者(または安定化処置を図った救急患者)の転院の受入に協力することについて伺います。

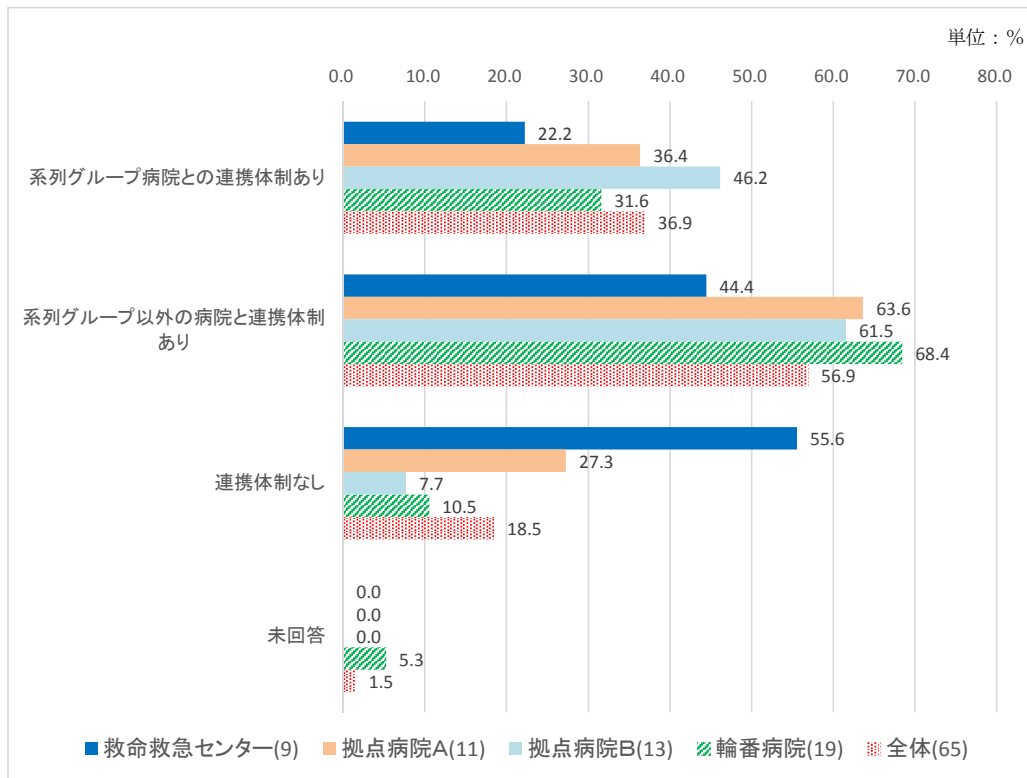
- 可能な限り協力したい
- 条件が整えば、受入に協力していきたい
- 協力は難しい
- 未回答



| 条件が整えば協力したい (具体的に記載)   |
|--|
| 急性期疾患の治療継続が必要な場合に積極的に受け入れたい。                                     |
| 地域包括ケア病棟、回復期病棟の要件を満たす場合。   |
| 当院での治療継続が可能な疾患・病態、治療終了後の退院先等の方向性が明確にされている (患者・家族の意向が確認されている)。 など |

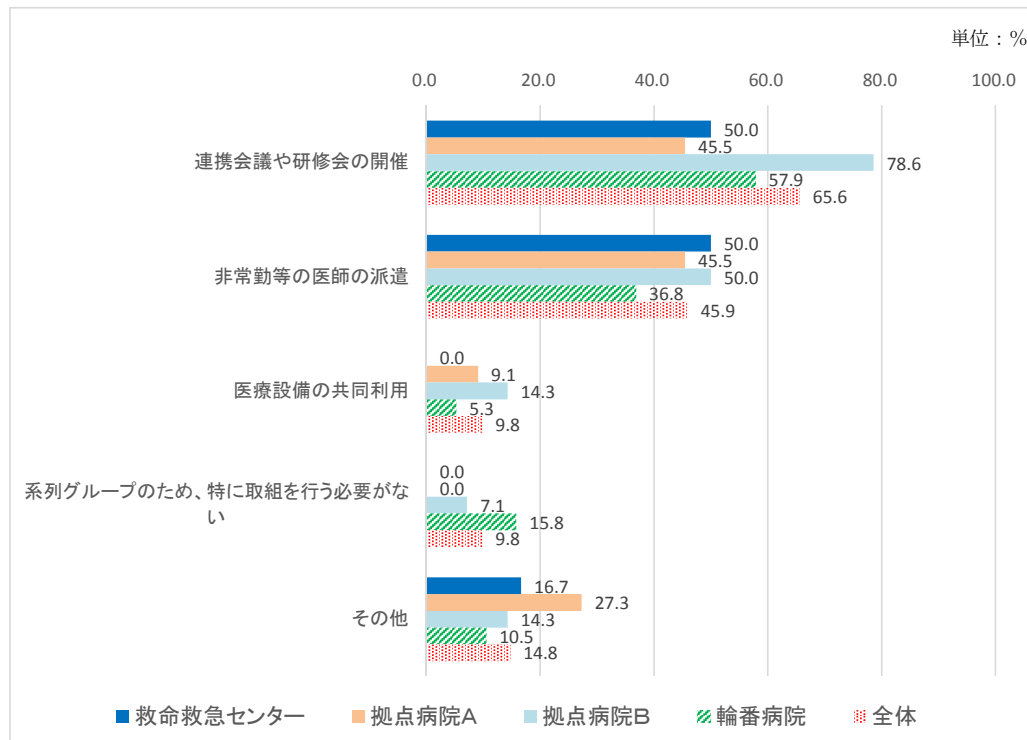
| 協力は難しい (具体的に記載) |
|-----------------|
| 急性期中心の医療体制のため。  |
| 専門病院のため。 など     |

(7) 高次急性期病院や後方支援病院への転院が円滑に進むよう、他病院との連携体制をとっていますか。(複数選択可)



《5(7)で「1 系列グループ病院との連携体制あり」または「2 系列グループ以外の病院と連携体制あり」と回答の場合、お答えください。》

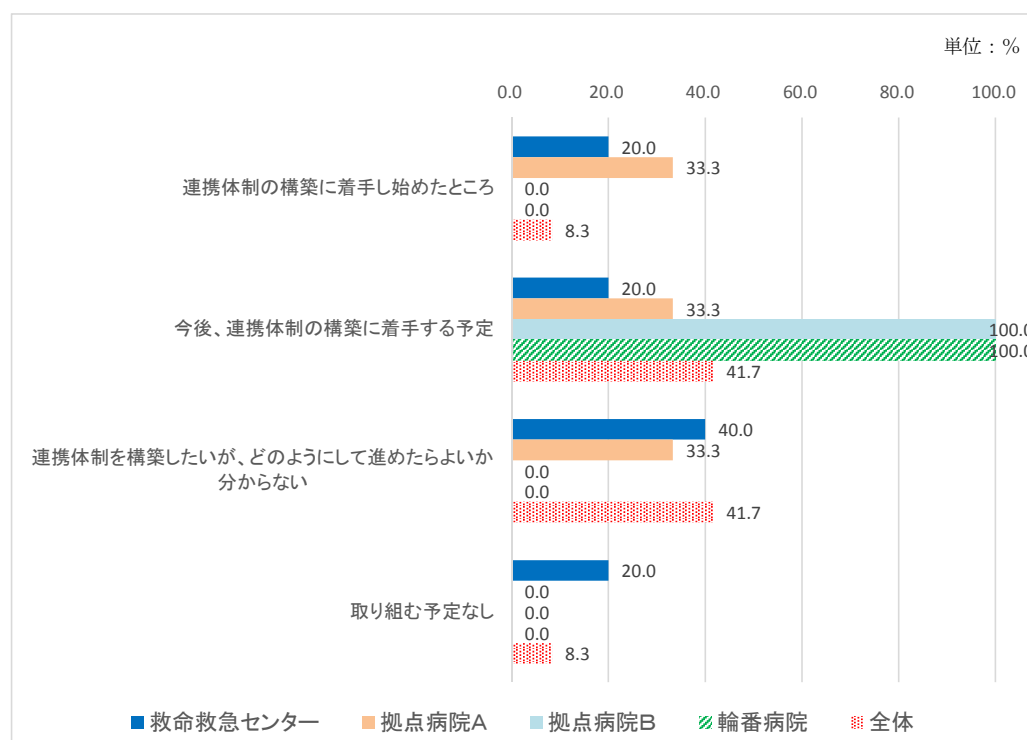
(8)どのようにして連携体制を構築していますか(複数選択可)



| その他（具体的に記載）                    |
|--------------------------------|
| ドクターカーによる搬送を通じて連携している。         |
| 協力関係の度合によって、優先的な入院を考慮している。     |
| 臨床研修や医師以外の職員の交流、研修は不断に取り組んでいる。 |
| 連携協定の締結や病院訪問。 など               |

《5(7)で「3 連携体制なし」と回答の場合、お答えください。》

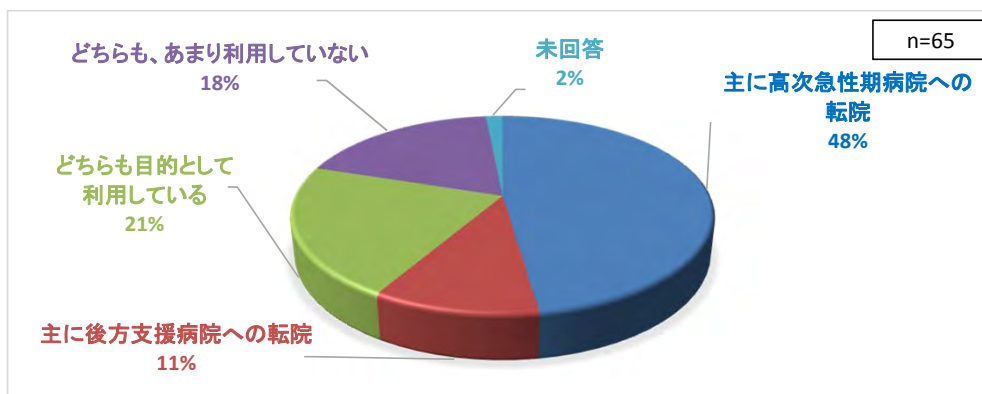
(9)今後、連携体制の構築に取り組んでいく予定はありますか。



## 6 神奈川県救急医療中央情報センターの利用状況について

「神奈川県救急医療中央情報センター」では、医療機関等を対象に、満床・専門医不在・処置困難等で受入医療機関を探している場合、転院先の医療機関の情報提供を行っています。この利用状況について伺います。

(1) 高次急性期病院への転院と、後方支援病院への転院とでは、主にどちらを目的に利用していますか。



### 4 どちらも利用せず（理由を記載）

担当医が直接病院に連絡して受け入れ先を決めている。決定まで時間がかかることはあっても、情報センターを利用するまでには至らない。

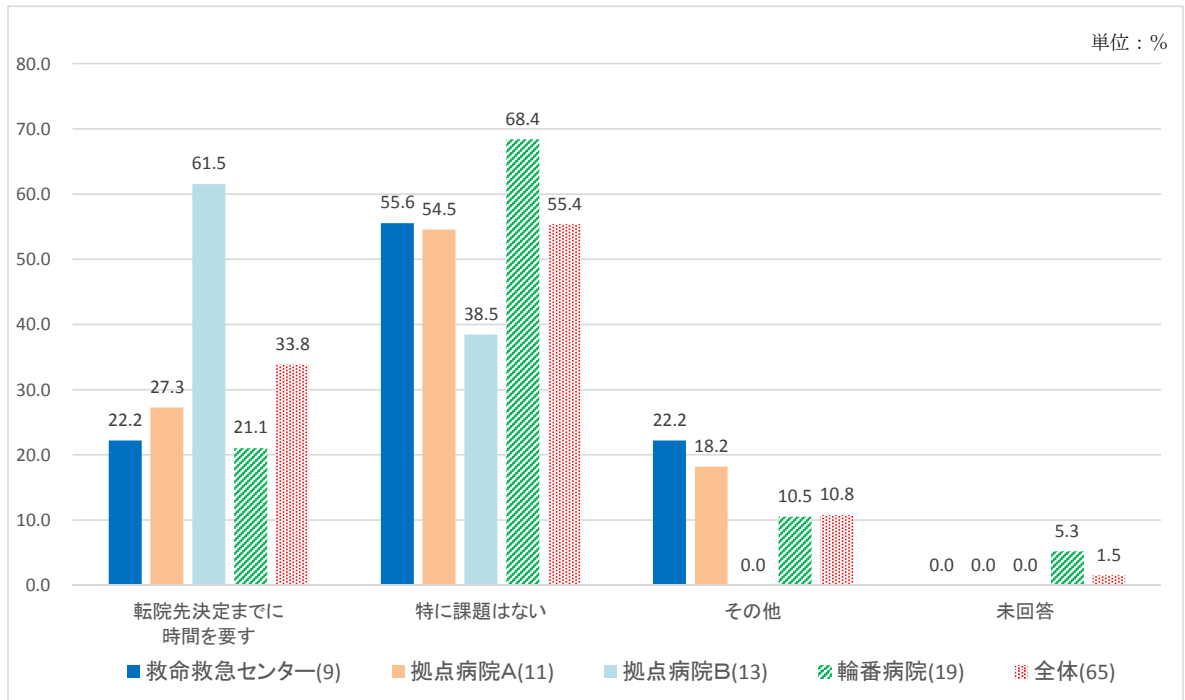
連携病院への転院が主となっているため。 など

(2) 神奈川県救急医療中央情報センターの利用実績は、おおよそどの程度ですか。

(1年でおおよそ\_\_\_\_\_性程度利用していますか)

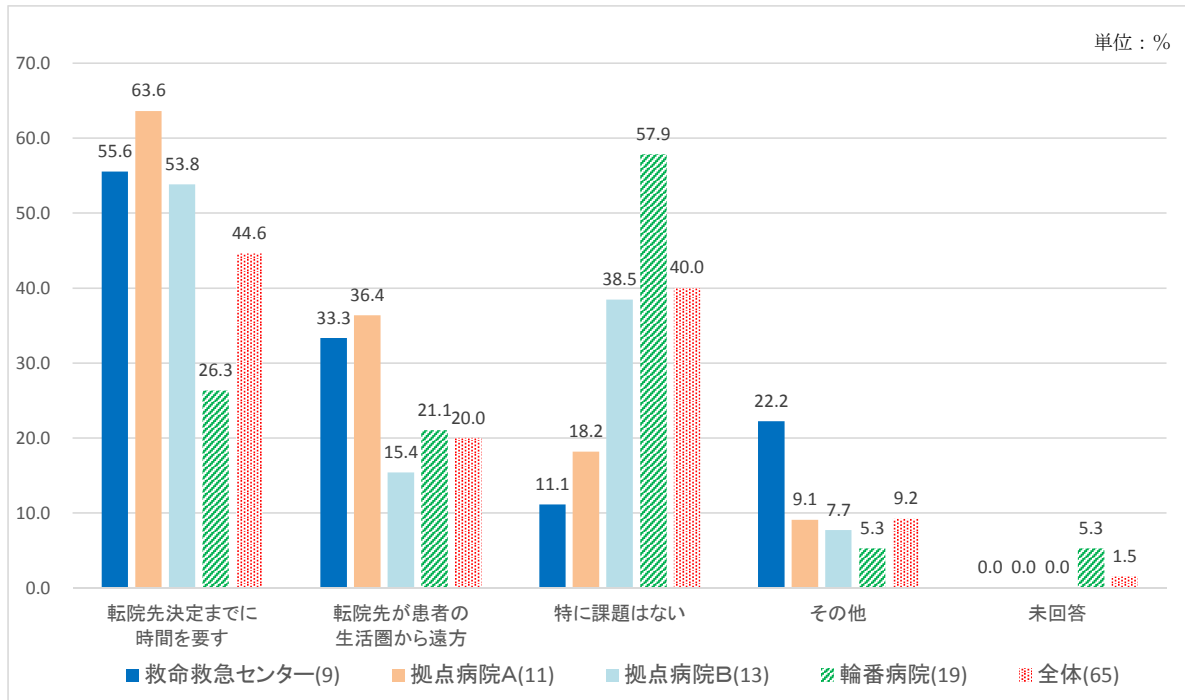
|                    | 【高次急性期病院への転院】 |            | 【後方支援病院への転院】 |            |                    | 【高次急性期病院への転院】 |            | 【後方支援病院への転院】 |            |    |
|--------------------|---------------|------------|--------------|------------|--------------------|---------------|------------|--------------|------------|----|
|                    | ①依頼するケース      | ②依頼を受けるケース | ①依頼するケース     | ②依頼を受けるケース |                    | ①依頼するケース      | ②依頼を受けるケース | ①依頼するケース     | ②依頼を受けるケース |    |
| 救命救急センター(9)の個別回答状況 | 10            | 50         | 300          | 0          | 輪番病院(19)の個別回答状況    | 0             | 0          | 5            | 5          |    |
|                    | 不明            | 不明         | 不明           | 不明         |                    | 不明            | 不明         | 不明           | 不明         | 不明 |
|                    | 0             | 0          | 0            | 0          |                    | 50            | 0          | 0            | 50         |    |
|                    | 5             | 200        | 0            | 0          |                    | 10            | 20         | 0            | 0          |    |
|                    | 1~2           | 10         | 0            | 0          |                    | 5             | 5          | 5            | 5          |    |
|                    | 不明            | 不明         | 不明           | 不明         |                    | 2             | 2          | 0            | 0          |    |
|                    | 20            | 0          | 0            | 0          |                    | 30            | 60         | 0            | 0          |    |
|                    | 0~1           | 10         | 0            | 0          |                    | 未回答           | 未回答        | 未回答          | 未回答        |    |
| 拠点病院A(11)の個別回答状況   | 0             | 30         | 10           | 0          | 2                  | 2~3           | 0          | 0            |            |    |
|                    | 10            | 50         | 300          | 0          | 0                  | 0             | 0          | 0            |            |    |
|                    | 不明            | 不明         | 不明           | 不明         | 不明                 | 不明            | 不明         | 不明           |            |    |
|                    | 0             | 0          | 0            | 0          | 6                  | 0             | 6          | 5            |            |    |
|                    | 5             | 200        | 30           | 0          | 10                 | 0             | 2          | 10           |            |    |
|                    | 5             | 200        | 0            | 0          | 1~5                | 1~5           | 0          | 0            |            |    |
|                    | 1~2           | 10         | 0            | 0          | 35                 | 5             | 0          | 0            |            |    |
|                    | 0             | 0          | 5            | 15         | 12                 | 4             | 20         | 100          |            |    |
| 不明                 | 不明            | 不明         | 不明           | 0          | 0                  | 0             | 10         |              |            |    |
| 拠点病院B(13)の個別回答状況   | 0             | 0          | 30           | 20         | 0                  | 0             | 15         | 0            |            |    |
|                    | 20            | 0          | 0            | 0          | 0                  | 0             | 0          | 0            |            |    |
|                    | 10            | 10         | 10           | 10         | 5                  | 5             | 0          | 5            |            |    |
|                    | 100           | 60         | 0            | 0          | 1                  | 30            | 0          | 0            |            |    |
|                    | 50            | 300        | 0            | 0          | 0                  | 5             | 0          | 0            |            |    |
|                    | 20            | 15         | 0            | 0          | 0~1                | 10            | 0          | 0            |            |    |
|                    | 0             | 0          | 0            | 0          | 0                  | 30            | 10         | 0            |            |    |
|                    | 10            | 20         | 10           | 0          | 10                 | 20            | 0          | 0            |            |    |
|                    | 不明            | 不明         | 不明           | 不明         | 6                  | 6             | 0          | 6            |            |    |
|                    | 20            | 20         | 0            | 0          | 1~2                | 10            | 0          | 0            |            |    |
|                    | 100           | 60         | 10           | 10         | 1~2                | 50            | 1~2        | 50           |            |    |
|                    | 2             | 12         | 0            | 0          | 0                  | 0             | 0          | 0            |            |    |
|                    | 5             | 5          | 5            | 5          | 0                  | 0             | 0          | 0            |            |    |
| 5                  | 10            | 0          | 0            | 20         | 0                  | 0             | 0          |              |            |    |
| 不明                 | 不明            | 不明         | 不明           | 10         | 0                  | 0             | 0          |              |            |    |
| 20                 | 0             | 0          | 5            | 不明         | 不明                 | 不明            | 不明         |              |            |    |
|                    |               |            |              |            | その他医療機関(22)の個別回答状況 | 0             | 0          | 0            | 0          |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 0             | 0          | 0            | 0          |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 6             | 5          | 8            | 8          |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 10            | 0          | 0            | 10         |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 10            | 0          | 0            | 0          |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 5             | 0          | 0            | 5          |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 5             | 87         | 6            | 2          |    |
|                    |               |            |              |            |                    | 0             | 0          | 0            | 0          |    |

(3) 高次急性期病院への転院依頼に際して感じる課題はありますか(複数選択可)



**その他 (具体的に記載)**  
 精神疾患や寝たきり状態の受け入れについて課題を感じている。  
 あまり利用していない。 など

(4) 後方支援病院への転院依頼に際して感じる課題はありますか(複数選択可)



**4 その他 (具体的に記載)**  
 あまり利用していない。 など

## 7 その他

その他、超高齢社会における救急医療体制について、御意見等あれば記載ください。(自由記載)

### 自由意見

輪番病院は輪番体制をやめて、平日の日中、毎日救急を行ってはどうか。

補助金は夜間、休日のみでなく、救急車の総受入数や、二次救急拠点病院A・Bからの転院受入数に加算してはどうか。

介護施設や自宅にて急に具合が悪くなったが、かかりつけ病院がすぐに受入困難の場合、当院のようなER型病院は受入診断、治療を行わなければならないと思いますが、高度救命処置を希望しない患者には、一泊入院後の継続入院をかかりつけ病院やその他の2次病院で対応してもらえるとありがたい。県の情報センターは大変助かっている。

在宅患者について、受診歴等がない場合は診療情報が少なく、初療に難渋する場合がある。

ベッドが満床であると、急変時の対応を期待をしている患者を断る場合がある。その場合は患者にその旨を理解してもらおうが、行政等でも病院間連携の理解を地域住民に促進するような取り組みがあると助かる。

在宅患者の療養を支えるうえで、地域医療機関を巻き込んだ仕組みの構築を行政でも大いに後押ししてほしい。

独居高齢者や認知症高齢者等の身元確認等、行政の迅速に対応をお願いしたい。急性期治療終了後に社会的理由での入院が長期化すると、救急患者を受入れベッドを確保できない。

拠点病院には輪番病院の実態が分からないため、実績を公表して欲しい。

夜間・休日急患診療所、輪番病院、拠点病院も機能・役割の違いが一般に理解されておらず、市民への啓発が必要。

高齢者を救急搬送する前に、高齢者施設での看取り等に関しての話し合いが必要。

すべての高齢者（特に施設入所者）はDNARか否かの意思確認をしておくべき。DNAR例はなるべく施設あるいは自宅で看とるべき。

独居老人や老老介護世帯の急増に伴い、救急車の利用も社会的搬送者も含め増加すると思われる。救急隊、救急車の数は無限ではなく、早急に救急搬送の有料化を導入する時期に来ていると思う。

在宅独居又は夫婦でも社会的孤立をしている場合、行政サービスも受けておらず、金銭的に問題がある場合が多い。行政はこまめに取り組んでほしい。

身体的ADLが保たれた認知症合併症は、医師・看護師にとって非常に負担となる。当院は積極的に受け入れしているが、金銭的のみならず、社会的に評価していただきたい。

全国のモデルケースとなるため、ワークステーション型ドクターカーを活用した新たな横浜市の医療体制を構築すべきである。 など





横浜市救急医療体制参加病院代表者 各位

横浜市医療局長 増住 敏彦

超高齢社会における救急医療体制に関するアンケート調査への御協力について（依頼）

春日の候、皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より横浜市の救急医療行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、横浜市では、高齢者を中心に救急搬送が増加している状況などを踏まえ、救急医療の課題や解決方法を検討する附属機関「横浜市救急医療検討委員会」において、超高齢社会における救急医療体制をテーマに課題検討を行っているところです。

そこで、現状の救急医療体制の課題を抽出し、対応策を考えるための基礎資料として活用するため、救急医療機関を対象としてアンケート調査を実施することになりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、別紙のアンケート調査票のご回答について、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、御不明な点がございましたら、下記担当まで御連絡をお願いいたします。

1 提出期限

平成 30 年 5 月 11 日（金）必着でお願いします。

2 回答方法

電子メールにて御回答をお願いいたします。

3 提出先メールアドレス

[ir-chousa@city.yokohama.jp](mailto:ir-chousa@city.yokohama.jp)

4 添付書類

- ・アンケート調査票
- ・参考資料「二次救急拠点病院事業実施要綱・抜粋（参加基準等）」
- ・参考資料「病院群輪番制事業実施要綱・抜粋（参加基準等）」

<お問い合わせ先>

横浜市医療局医療政策課

救急・災害医療担当 小松、板倉

電話：045-671-2465

横浜市内救急告示医療機関代表者 各位

横浜市医療局長 増住 敏彦

超高齢社会における救急医療体制に関するアンケート調査への御協力について（依頼）

春日の候、皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より横浜市の救急医療行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、横浜市では、高齢者を中心に救急搬送が増加している状況などを踏まえ、救急医療の課題や解決方法を検討する附属機関「横浜市救急医療検討委員会」において、超高齢社会における救急医療体制をテーマに課題検討を行っているところです。

そこで、現状の救急医療体制の課題を抽出し、対応策を考えるための基礎資料として活用するため、救急医療機関を対象としてアンケート調査を実施することになりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、別紙のアンケート調査票のご回答について、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、御不明な点がございましたら、下記担当まで御連絡をお願いいたします。

1 提出期限

平成 30 年 5 月 11 日（金）必着でお願いします。

2 回答方法

F A X または 電子メール にて御回答をお願いいたします。

※調査票の電子データが必要な場合には、下記「お問い合わせ先」までご連絡ください。

3 回答先

横浜市医療局医療政策課 救急・災害医療担当

F A X : 045-664-3851

e-mail : [ir-chousa@city.yokohama.jp](mailto:ir-chousa@city.yokohama.jp)

4 添付書類

- ・アンケート調査票
- ・参考資料「二次救急拠点病院事業実施要綱・抜粋（参加基準等）」
- ・参考資料「病院群輪番制事業実施要綱・抜粋（参加基準等）」

<お問い合わせ先>

横浜市医療局医療政策課

救急・災害医療担当 小松、板倉

電話：045-671-2465

# 超高齢社会における救急医療体制に関するアンケート調査票

|     |    |          |   |
|-----|----|----------|---|
| 病院名 |    |          |   |
| 記入者 | 所属 |          |   |
|     | 氏名 | 連絡先(TEL) | — |

**【調査目的】**

本調査は、今後、高齢者を中心に救急搬送の増加が見込まれている中で、超高齢社会における救急医療体制の課題や対応策を検討することを目的に実施します。  
 なお、御回答いただいた個々の医療機関が特定されるような集計はいたしません。

**【記載方法】**

「□」の中には「レ点」を、点線の          の中には「数値」を記入してください。

**【用語の定義】**（特に定義が必要と思われるもののみ）

1 時間帯

- ・夜間（準夜帯）：当該病院の診療時間終了後から午前0時までの時間帯
- ・夜間（深夜帯）：午前0時から当該病院の診療開始までの時間帯
- ・休日昼間：当該病院の休診日で夜間（準夜帯及び深夜帯）を除いた時間帯
- ・平日昼間：上記（夜間（準夜帯及び深夜帯）・休日昼間）以外

2 救急搬送患者の傷病程度

- ・軽症：入院を要しないもの
- ・中等症：生命の危険はないが入院を要するもの
- ・重症以上：生命の危険の可能性があるもの、生命の危険が切迫しているもの、または死亡

3 ウォークイン患者

来院方法が救急車以外の患者

4 転院

- ・高次急性期病院への転院：患者急変時に救急治療を行うことを目的とした高次医療機関への転院
- ・後方支援病院への転院：病状が安定した救急患者、または安定化処置を図った救急患者を、他院において継続的に入院させることを目的とした転院

## 1 施設の機能について

(1) 救急医療体制種別(複数選択可)

- 1 横浜市二次救急拠点病院A
- 2 横浜市二次救急拠点病院B
- 3 横浜市病院群輪番制病院(一般(内科・外科)輪番病院)
- 4 横浜市病院群輪番制病院(小児科輪番病院)
- 5 横浜市疾患別救急医療体制(脳疾患、心疾患、外傷(整形外科・脳神経外科))
- 6 三次救急病院(救命救急センター)
- 7 救急告示医療機関

(2) 医療機能(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)ごとの病床数(複数選択可)

- |          |                          |      |   |                          |      |
|----------|--------------------------|------|---|--------------------------|------|
| (高度急性期)： | <input type="checkbox"/> | 1 あり | <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">        </span> 床 | <input type="checkbox"/> | 2 なし |
| (急性期)：   | <input type="checkbox"/> | 1 あり | <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">        </span> 床 | <input type="checkbox"/> | 2 なし |
| (回復期)：   | <input type="checkbox"/> | 1 あり | <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">        </span> 床 | <input type="checkbox"/> | 2 なし |
| (慢性期)：   | <input type="checkbox"/> | 1 あり | <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">        </span> 床 | <input type="checkbox"/> | 2 なし |

(3) 地域包括ケア病棟入院料または地域包括ケア入院医療管理料の施設基準の届け出

- 1 している         床
- 2 していない
  - 今後、届け出の予定あり
  - 今後も届け出の予定なし
  - 今後の届け出は未定

(4) 在宅療養支援病院の施設基準の届出

- 1 している
  - 2 していない
- 今後、届け出の予定あり
  - 届け出の対象となる施設だが、今後も届け出の予定なし
  - 届け出の対象となる施設だが、今後も届け出は未定
  - 届け出の対象外の施設

(5) 在宅療養後方支援病院の施設基準の届出

- 1 している
  - 2 していない
- 今後、届け出の予定あり
  - 届け出の対象となる施設だが、今後も届け出の予定なし
  - 届け出の対象となる施設だが、今後も届け出は未定
  - 届け出の対象外の施設

## 2 救急搬送の受入状況

(1) 現在の救急搬送の受入余力について伺います。

**【平日昼間の時間帯】**

- 1 受入余力がまだある
- 2 受入余力がほとんどない
- 3 余力を超える受入要請がある

**【夜間(準夜帯)の時間帯】**

- 1 受入余力がまだある
- 2 受入余力がほとんどない
- 3 余力を超える受入要請がある

**【夜間(深夜帯)の時間帯】**

- 1 受入余力がまだある
- 2 受入余力がほとんどない
- 3 余力を超える受入要請がある

**【休日昼間の時間帯】**

- 1 受入余力がまだある
- 2 受入余力がほとんどない
- 3 余力を超える受入要請がある

(その他、自由意見欄)

(2) 現在の救急搬送患者の傷病程度別(軽症・中等症・重症以上)の受入状況について伺います。

**【軽症】**

- 1 多く感じる
- 2 少なく感じる
- 3 現状程度で適当である

**【中等症】**

- 1 多く感じる
- 2 少なく感じる
- 3 現状程度で適当である

**【重症以上】**

- 1 多く感じる
- 2 少なく感じる
- 3 現状程度で適当である

(その他、自由意見欄)

(3) 今後、昼間帯を中心に、高齢者の救急需要の増加が見込まれています。救急搬送の今後の受入の意向について伺います。

【平日昼間の時間帯】

- 1 より積極的に受け入れていきたい
- 2 現在と同程度の受入が望ましい
- 3 縮小の方向で考えている

【夜間(準夜帯)の時間帯】

- 1 より積極的に受け入れていきたい
- 2 現在と同程度の受入が望ましい
- 3 縮小の方向で考えている

【夜間(深夜帯)の時間帯】

- 1 より積極的に受け入れていきたい
- 2 現在と同程度の受入が望ましい
- 3 縮小の方向で考えている

【休日昼間の時間帯】

- 1 より積極的に受け入れていきたい
- 2 現在と同程度の受入が望ましい
- 3 縮小の方向で考えている

(その他、自由意見欄)

**3 横浜市「二次救急拠点病院A・B及び一般輪番病院(内科・外科)」体制について**

(1) 平成22年度から運用が開始されている「二次救急拠点病院A・B及び一般輪番病院(内科・外科)」体制は、貴院での救急搬送の受入意識にどのような影響を与えていますか。

- 1 受入意識を向上させている

【理由】(複数選択可)

- 体制参加病院として位置づけられることで、医療スタッフの意識を向上させているため
- 市全体で充実した二次救急医療体制が運用されており、医療スタッフの意識に良い影響を与えているため
- その他 (具体的に記載)

- 2 受入意識を低下させている

【理由】(複数選択可)

- 救急搬送については、二次救急拠点病院などの救急医療機関を中心に受け入れたらよいという風土を生じさせているため
- 参加基準や補助金インセンティブに課題があるため
- その他 (具体的に記載)

- 3 どちらとも言えない

(2) 今後、高齢者を中心に救急搬送の増加が見込まれている中で、「二次救急拠点病院A・B及び一般輪番病院(内科・外科)」体制を見直す必要はあると思いますか。

- 1 大きな見直しが必要である (改善策等を具体的に記載)

- 2 基本的には見直しの必要はないが、軽微な改善が必要である (改善策等を具体的に記載)

- 3 見直しは必要でない
- 4 分からない

(3) 現行の「二次救急拠点病院A・B」体制に課題があると思いますか。(複数選択可)

1 課題がある

【理由】(複数選択可)

参加基準に課題がある (課題・改善策等を具体的に記載)

補助金体制に課題がある (課題・改善策等を具体的に記載)

その他 (具体的に記載)

2 基本的には課題がない

3 分からない

(4) 現行の「一般輪番病院(内科・外科)」体制に課題があると思いますか。(複数選択可)

1 課題がある

【理由】(複数選択可)

参加基準に課題がある (課題・改善策等を具体的に記載)

補助金体制に課題がある (課題・改善策等を具体的に記載)

その他 (具体的に記載)

2 基本的には課題がない

3 分からない

《1(1)「救急医療体制種別」で「7 救急告示医療機関」のみにチェックがついている医療機関のみ、お答えください。》

(5) 今後、「二次救急拠点病院A・Bまたは一般輪番病院(内科・外科)」に参加することを考えていますか。

1 参加を考えている

2 参加を考えていない

【理由】(複数選択可)

参加基準に課題があるため (課題・改善策等を具体的に記載)

補助金体系に課題があるため (課題・改善策等を具体的に記載)

その他(具体的に記載)

#### 4 夜間・休日昼間のウォークイン患者の受入状況

(1) 現在の夜間・休日昼間のウォークイン患者の受入余力について伺います。

【夜間(準夜帯)の時間帯】

1 受入余力がまだある

2 受入余力がほとんどない

3 余力を超えるウォークイン患者の来院がある

【夜間(深夜帯)の時間帯】

1 受入余力がまだある

- 2 受入余力がほとんどない
- 3 余力を超えるウォークイン患者の来院がある

**【休日昼間の時間帯】**

- 1 受入余力がまだある
- 2 受入余力がほとんどない
- 3 余力を超えるウォークイン患者の来院がある

(その他、自由意見欄)

(2) 今後の夜間・休日昼間のウォークイン患者の受入について伺います。

**【夜間(準夜帯)の時間帯】**

- 1 ウォークイン患者が今以上に増加したとしても、しっかりと受け入れていきたい
- 2 ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることができるか不安である
- 3 ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることは困難である

**【夜間(深夜帯)の時間帯】**

- 1 ウォークイン患者が今以上に増加したとしても、しっかりと受け入れていきたい
- 2 ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることができるか不安である
- 3 ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることは困難である

**【休日昼間の時間帯】**

- 1 ウォークイン患者が今以上に増加したとしても、しっかりと受け入れていきたい
- 2 ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることができるか不安である
- 3 ウォークイン患者が今以上に増加したとしたら、受け入れることは困難である

(その他、自由意見欄)

**5 病病連携等について**

(1) 高齢者の救急搬送の受入要請があった際に、受入が困難となる主な理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 初診患者であり処置困難のため
- 2 複数疾患を抱えている疑いがあり処置困難のため
- 3 救急治療後に必要とされる入院用のベッドが満床のため
- 4 独居等による親族不明のため
- 5 本人・家族の金銭的な問題のため
- 6 DNAR等の治療方針が不明確なため
- 7 その他 (具体的に記載)

(2) 救急搬送のあった高齢者患者は、他の年代に比べて入院が長期化していますか。

- 1 入院が長期化している

**【理由】(複数選択可)**

- 急性的な病態の悪化の処置を行ったが、もともと慢性的な疾患を抱えていたため
- 他病院への転院が円滑に進まないため
- 独居・高齢者のみの世帯により、自宅に復帰させることが困難のため
- 患者のバイタル等の医療上の理由により、高齢者施設等への入所が円滑に進まないため
- 金銭的な理由により、他病院・高齢者施設等への転院・入所等が困難のため
- その他 (具体的に記載)

- 2 長期化していない
- 3 どちらとも言えない

(3) 貴院から後方支援病院への転院は円滑に進んでいますか。

- 1 比較的、円滑に進んでいる
- 2 あまり円滑に進んでいない

【理由】(複数選択可)

- 協力関係にある後方支援病院がないため
- 空床等の情報を、随時、他院に確認する必要があり手間がかかるため
- 患者のバイタルが後方支援病院の受入意向に合わないため
- 転院先のベッドが満床のため
- 本人・家族の金銭的な問題のため
- 転院先が本人・家族が希望する生活エリアにないため
- 病院が移ること自体を本人・家族が希望しないため
- その他 (具体的に記載)

(4) 貴院から高次急性期病院への転院は円滑に進んでいますか。

- 1 比較的、円滑に進んでいる
- 2 あまり円滑に進んでいない

【理由】(複数選択可)

- 協力関係にある高次急性期病院がないため
- 患者のバイタルが高次急性期病院の受入意向に合わないため
- 転院先のベッドが満床のため
- 本人・家族の金銭的な問題のため
- 転院先が本人・家族が希望する生活エリアにないため
- 病院が移ること自体を本人・家族が希望しないため
- その他 (具体的に記載)

(5) 後方支援病院への転院で、特に必要と感じる病床はありますか。

1 ある(複数選択可)

- 一般病床
- 療養病床
- 地域包括ケア病棟等  
(地域包括ケア病棟入院料または地域包括ケア入院医療管理料の施設基準を満たす病床)
- 回復期リハビリテーション病棟  
(回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準を満たす病床)
- その他 (具体的に記載)

2 特にはない

(6) 後方支援病院として、病状が安定した救急患者(または安定化処置を図った救急患者)の転院の受入に協力することについて伺います。

- 1 可能な限り、受入に協力していきたい
- 2 条件を整えば、受入に協力していきたい (条件等を具体的に記載)

3 受入の協力は難しい

【理由】



- 高次急性期病院としての機能を中心としている病院であるため
- その他（具体的に記載）

(7) 高次急性期病院や後方支援病院への転院が円滑に進むよう、他病院との連携体制をとっていますか。(複数選択可)

- 1 系列グループ病院との連携体制あり

(病院名)

- 2 系列グループ以外の病院と連携体制あり

(病院名)

- 3 連携体制なし

《5(7)で「1 系列グループ病院との連携体制あり」または「2 系列グループ以外の病院と連携体制あり」と回答の場合、お答えください。》

(8) どのようにして連携体制を構築していますか(複数選択可)

- 1 連携会議や研修会の開催
- 2 非常勤等の医師の派遣
- 3 医療設備の共同利用
- 4 系列グループのため、特に取組を行う必要がない
- 5 その他（具体的に記載）

《5(7)で「3 連携体制なし」と回答の場合、お答えください。》

(9) 今後、連携体制の構築に取り組んでいく予定はありますか。

- 1 連携体制の構築に着手し始めたところ
- 2 今後、連携体制の構築に着手する予定
- 3 連携体制を構築したいが、どのようにして進めたらよいか分からない
- 4 取り組む予定なし（理由を記載）

(理由)

## 6 神奈川県救急医療中央情報センターの利用状況について

「神奈川県救急医療中央情報センター」では、医療機関等を対象に、満床・専門医不在・処置困難等で受入医療機関を探している場合、転院先の医療機関の情報提供を行っています。この利用状況について伺います。

(1) 高次急性期病院への転院と、後方支援病院への転院とでは、主にどちらを目的に利用していますか。

- 1 主に高次急性期病院への転院
- 2 主に後方支援病院への転院
- 3 どちらも目的として利用している
- 4 どちらも、あまり利用していない（理由を記載）

(2) 神奈川県救急医療中央情報センターの利用実績は、おおよそどの程度ですか。

### 【高次急性期病院への転院】

- ① 依頼するケース : 1年で、おおよそ  件 程度の利用
- ② 依頼を受けるケース : 1年で、おおよそ  件 程度の利用

### 【後方支援病院への転院】

- ① 依頼するケース : 1年で、おおよそ  件 程度の利用
- ② 依頼を受けるケース : 1年で、おおよそ  件 程度の利用

(3) 高次急性期病院への転院依頼に際して感じる課題はありますか

- 1 転院先決定までに時間を要す
- 2 特に課題はない
- 3 その他（具体的に記載）

(4) 後方支援病院への転院依頼に際して感じる課題はありますか

- 1 転院先決定までに時間を要す
- 2 転院先が患者の生活圏から遠方
- 3 特に課題はない
- 4 その他（具体的に記載）

## 7 その他

その他、超高齢社会における救急医療体制について、御意見等あれば記載ください。（自由記載）

※記載欄が不足する場合は、別紙により回答可能

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

御協力ありがとうございました。

# 横浜市二次救急拠点病院事業実施要項(抜粋)

(別表1)

○二次救急拠点病院の機能基準

| 基準    | 二次救急拠点病院A   | 二次救急拠点病院B   |
|-------|---|---|
| 位置づけ  | <p>①毎夜間・休日に、内科・外科の比較的重症度の高い患者(中等症以上)を中心に受け入れる。</p> <p>②搬送困難事案を受け入れる。</p>  | <p>①毎夜間・休日に、内科・外科の比較的重症度の低い患者(中等症以下)を中心に受け入れる。</p> <p>②同左</p> <p>③毎夜間深夜帯において、内科の初期救急患者を受け入れる。</p>                                 |
| 人員・体制 | <p>①毎夜間・休日に、もっぱら内科の外来救急患者(救急車による搬送患者を含む。)の診療にあたる医師1名に加えて、内科及び外科各1名以上の医師体制が確保されていること。</p> <p>②外科については、一般外科医師又は消化器外科医師による対応が可能な体制をとること。ただし、一般外科医師又は消化器外科医師による当直体制がとれない場合は、外科系医師が当直した上で、一般外科医師又は消化器外科医師による緊急呼出体制をとること。</p> <p>③内科及び外科を標榜し、夜間・休日に入院した患者の診療を、翌診療日に当該各科の常勤医師に引き継ぐことのできる体制を有すること。</p> <p>④毎夜間・休日に、救急患者の診療に必要な薬剤師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師及び事務職員等を適正数配置するとともに、応援医師及び応援看護師等について、緊急呼出体制がとられていること。</p> | <p>①同左</p> <p>②同左</p> <p>③同左</p> <p>④同左</p>   |
| 病床    | <p>①内科及び外科の病床、救急専用病床(概ね8床以上)並びに集中治療室を有しており、毎夜間・休日に入院患者を受け入れるための空床の確保が概ね3床以上可能なこと。</p>   | <p>①内科及び外科の病床を有しており、毎夜間・休日に入院患者を受け入れるための空床の確保が概ね3床以上可能なこと。</p>  |
| 検査・処置 | <p>①毎夜間・休日に、尿検査、血算・血沈検査、生化学検査、心電図検査、腹部超音波検査、エックス線検査(CT検査を含む。)等の緊急検査が可能なこと。</p> <p>②消化管内視鏡検査及び処置が可能な体制確保に努めること。なお、情報は横浜市救急医療情報システム(YMIS)に入力すること。</p>   | <p>①毎夜間・休日に、尿検査、血算・血沈検査、生化学検査、心電図検査、腹部超音波検査、エックス線検査等の緊急検査が可能なこと。</p> <p>②同左</p>   |
| 手術    | <p>①毎夜間・休日に、麻酔科医師及び外科応援医師等の緊急呼出体制がとられており、全身麻酔下における緊急開腹手術が可能なこと。</p>   | <p>①同左</p>  |
| その他   | <p>①毎夜間・休日に、内科、外科、その他当直医師等の専門分野に関する情報(消化管内視鏡検査及び処置の情報を含む。)を、消防局司令センター等に提供し、当該分野の救急患者の受入りに協力できること。なお、情報は神奈川県救急医療情報システム及び横浜市救急医療情報システム(YMIS)に入力すること。</p> <p>②消防局司令センターに指導医を派遣し、心肺停止患者の緊急受入りに協力できること。</p> <p>③重症以上の救急車搬送患者の受入実績が、一定数以上あること。</p>  | <p>①毎夜間・休日に、内科、外科、その他当直医師等の専門分野に関する情報を、消防局司令センター等に提供し、当該分野の救急患者の受入りに協力できること。なお、情報は神奈川県救急医療情報システム及び横浜市救急医療情報システム(YMIS)に入力すること。</p> |

## (別表2)

## ○補助金交付額

単位：円

| 二次救急拠点病院 | 体制確保費           |            | 救急患者受入実績加算 <sup>※1</sup> |           | 搬送困難事案受入実績加算 <sup>※2</sup> |       |           | 医師賠償責任保険料 <sup>※3</sup> |
|----------|-----------------|------------|--------------------------|-----------|----------------------------|-------|-----------|-------------------------|
|          | 区分              | 補助単価       | 受入件数                     | 補助単価      | 受入率                        | 受入件数  | 補助単価      | 補助単価                    |
| 二次救急拠点病院 | A               | 11,000,000 | 5,000件以上                 | 6,000,000 | 80%以上                      | 30件以上 | 2,000,000 | 42,000                  |
|          | B <sup>※5</sup> | 9,000,000  | 4,500件以上                 | 5,250,000 |                            | 15件以上 | 1,000,000 |                         |
|          |                 |            | 4,000件以上                 | 4,500,000 | 60%以上                      | 30件以上 | 1,000,000 |                         |
|          |                 |            | 3,500件以上                 | 3,750,000 |                            | 15件以上 | 500,000   |                         |
|          |                 |            | 3,000件以上                 | 3,000,000 | 60%未満                      | —     | 0         |                         |
|          |                 |            | 2,500件以上                 | 2,250,000 |                            |       |           |                         |
|          |                 |            | 2,000件以上                 | 1,500,000 |                            |       |           |                         |
|          |                 |            | 1,500件以上                 | 750,000   |                            |       |           |                         |
|          |                 | 1,500件未満   | 0                        |           |                            |       |           |                         |

- ※1 救急患者受入実績は、申請年の1月から12月までの夜間・休日の受入実績（横浜市消防局医療機関別程度別搬送人員による）とする。  
 なお、夜間の時間帯は、午後5時から翌日午前9時まで、休日の時間帯は、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日及び年末年始（12月30日から1月3日まで）の午前9時から午後5時までとする。  
 また、受入件数が「1,500件以上」の区分は二次救急拠点病院Bのみ適用。
- ※2 搬送困難事案受入実績は、申請年の1月から12月までの横浜市消防局による救急搬送のうち搬送困難事案における受入率及び受入件数とする。  
 ただし、平成27年度に限り、運用開始時期から12月までの横浜市消防局による救急搬送のうち搬送困難事案における受入率及び受入件数とし、運用開始時期及び受入件数の条件について別に定める。
- ※3 二次救急拠点病院が小児科輪番に参加した場合、医師賠償責任保険料は50,000円とする。
- ※4 この事業に年度途中で参加、参加を辞退、又は休止した場合の補助金の交付額は、別表2の合計の補助額を12で除した額に参加月数を乗じて得た額を交付する。（1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。）
- ※5 申請年の前年の1月から12月の横浜市消防局による夜間・休日の救急患者搬送人員が、1,000件以上の受入実績がある二次救急拠点病院B及び輪番病院については、別表1基準「人員・体制」欄中の①同左における、「内科及び外科各1名以上の医師体制」については、内科及び外科のうち、いずれか一方の診療科に限り、緊急呼出体制も可とする。ただし、その場合は体制確保費を8,000,000円とする。

横浜市病院群輪番制事業実施要項(抜粋)

(別表第1)

| 参加基準          |  |
|---------------|--|
| 一般(内科・外科)輪番病院 |  |
| 位置づけ          | ①輪番日に、内科・外科の比較的重症度の低い患者(中等症以下)を中心に受け入れる。   |
| 人員・体制         | <p>①輪番日に、内科及び外科各1名以上の医師体制が確保されていること。</p> <p>②外科については、一般外科医師又は消化器外科医師による対応が可能な体制をとること。ただし、一般外科医師又は消化器外科医師による当直体制がとれない場合は、外科系医師が当直した上で、一般外科医師又は消化器外科医師による緊急呼出体制をとること。</p> <p>③内科及び外科を標榜し、夜間・休日に入院した患者の診療を、翌診療日に当該各科の常勤医師に引き継ぐことのできる体制を有すること。</p> <p>④輪番日に、救急患者の診療に必要な薬剤師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師及び事務職員等を適正数配置するとともに、応援医師及び応援看護師等について、緊急呼出体制がとられていること。</p> |
| 病床            | ①内科及び外科の病床を有しており、輪番日に入院患者を受け入れるための空床の確保が概ね3床以上可能なこと。   |
| 検査・処置         | ①輪番日に、尿検査、血算・血沈検査、生化学検査、心電図検査、腹部超音波検査、エックス線検査等の緊急検査が可能なこと。   |
| 手術            | ①輪番日に、麻酔科医師及び外科応援医師等の緊急呼出体制がとられており、全身麻酔下における緊急開腹手術が可能なこと。  |
| その他           | ①輪番日に、内科、外科、その他当直医師等の専門分野に関する情報を消防局司令センター等に提供し、当該分野の救急患者の受入に協力できること。<br>なお、情報は神奈川県救急医療情報システム及び横浜市救急医療情報システム(YMIS)に入力すること。  |

(別表第2)

補助金額

| 区分        | 体制確保費                 |           | 救急患者受入実績加算 <sup>※1</sup> |           | 医師賠償責任保険料 |
|-----------|-----------------------|-----------|--------------------------|-----------|-----------|
|           |                       | 年末年始加算    | 搬送件数                     | 年間補助額     | 年間補助額     |
|           | (輪番1回当たり)             | (輪番1回当たり) |                          |           |           |
| 内科<br>・外科 | 150,000 <sup>※2</sup> | 62,600    | 1,000件以上                 | 3,000,000 | 42,000    |
|           |                       |           | 750件以上                   | 2,000,000 |           |
|           |                       |           | 500件以上                   | 1,000,000 |           |
|           |                       |           | 500件未満                   | 0         |           |

※1 救急患者受入実績は、申請年の1月から12月までの夜間・休日の受入実績とします。  
 なお、夜間の時間帯は、午後5時から翌日午前9時まで、休日の時間帯は、日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日及び年末年始(12月30日から1月3日まで)の午前9時から午後5時までとします。

※2 内科・外科の輪番病院の体制確保費は、500万円を上限とします。

※3 内科・外科の輪番病院で、輪番日1回あたりの救急車受入件数が1件に満たない場合、補助金額を減額措置とします。  
 減額措置対象になった初年度は補助金額を75%に、2年連続減額措置対象になった場合は、補助金額を50%とします。また、2年連続減額措置対象となった翌年度以降に、初めて輪番に参加する場合、当該年度については補助金は不交付となります。  
 ただし、当該年度において輪番日1日あたりの救急受入件数が1件を超えた場合、その翌年度以降は補助金の交付対象とします。

※4 二次救急拠点病院及び輪番病院(内科・外科)が小児科輪番に参加した場合、医師賠償責任保険料は50,000円とします。  
 二次救急拠点病院の場合は二次救急拠点病院補助金において、交付します。

※5 補助金の支払いは毎年度終了後、一括払いとします。(救急車受入実績が確定してから、補助金の支払いを行う。)

# 横浜市救急医療体制参加病院

平成30年2月9日現在

| No. | 二次医療圏 | 行政区  | 医療機関名          | 二次救急拠点病院(A) | 二次救急拠点病院(B) | 輪番病院(内・外) | 脳血管疾患 | 急性心疾患 | 外傷 | 精神輪番 | 小児救急拠点 | 輪番病院(小児) | 救命救急センター      | 神奈川県告示 |
|-----|-------|------|----------------|-------------|-------------|-----------|-------|-------|----|------|--------|----------|---------------|--------|
| 1   | 北部    | 鶴見   | 済生会横浜市東部病院     | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          | ●<br>重症外傷センター | ○      |
| 2   | 北部    | 港北   | 横浜労災病院         | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          | ○             | ○      |
| 3   | 北部    | 青葉   | 昭和大学藤が丘病院      | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      |        | ○        | ○             | ○      |
| 4   | 北部    | 都筑   | 昭和大学横浜市北部病院    | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          |               | ○      |
| 5   | 西部    | 保土ヶ谷 | 横浜立市民病院        | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          | ○             | ○      |
| 6   | 西部    | 戸塚   | 国立病院機構横浜医療センター | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          | ○             | ○      |
| 7   | 西部    | 泉    | 国際親善総合病院       | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 8   | 南部    | 中    | 市立みなと赤十字病院     | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          | ○             | ○      |
| 9   | 南部    | 港南   | 済生会横浜市南部病院     | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      | ○      |          |               | ○      |
| 10  | 南部    | 金沢   | 横浜南共済病院        | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          | ○             | ○      |
| 11  | 南部    | 栄    | 横浜栄共済病院        | ○           |             |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 12  | 北部    | 鶴見   | 汐田総合病院         |             | ○           |           | ○     |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 13  | 北部    | 港北   | 菊名記念病院         |             | ○           |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 14  | 北部    | 緑    | 横浜新緑総合病院       |             | ○           |           | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 15  | 北部    | 青葉   | 横浜総合病院         |             | ○           |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 16  | 西部    | 西    | けいゆう病院         |             | ○           |           |       | ○     |    |      |        | ○        |               | ○      |
| 17  | 西部    | 保土ヶ谷 | 聖隷横浜病院         |             | ○           |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 18  | 西部    | 旭    | 上白根病院          |             | ○           |           | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 19  | 西部    | 旭    | 横浜旭中央総合病院      |             | ○           |           | ○     | ○     | ○  |      |        | ○        |               | ○      |
| 20  | 西部    | 戸塚   | 東戸塚記念病院        |             | ○           |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 21  | 西部    | 戸塚   | 戸塚共立第1病院       |             | ○           |           |       |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 22  | 西部    | 戸塚   | 戸塚共立第2病院       |             | ○           |           |       |       | ○  |      |        | ○        |               | ○      |
| 23  | 南部    | 中    | JCHO横浜中央病院     |             | ○           |           | ○     | ○     | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 24  | 南部    | 磯子   | 康心会汐見台病院       |             | ○           |           |       |       |    |      |        | ○        |               | ○      |
| 25  | 北部    | 鶴見   | ふれあい鶴見ホスピタル    |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 26  | 北部    | 港北   | 高田中央病院         |             |             | ○         | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 27  | 北部    | 緑    | 牧野記念病院         |             |             | ○         |       |       | ○  |      |        | ○        |               | ○      |
| 28  | 北部    | 緑    | 鴨居病院           |             |             | ○         |       |       |    |      |        | ○        |               | ○      |
| 29  | 北部    | 緑    | 長津田厚生総合病院      |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 30  | 北部    | 青葉   | たちばな台病院        |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 31  | 北部    | 青葉   | 青葉さらい病院        |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | —      |
| 32  | 西部    | 保土ヶ谷 | 横浜保土ヶ谷中央病院     |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 33  | 西部    | 旭    | 横浜鶴ヶ峰病院        |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 34  | 西部    | 戸塚   | 西横浜国際総合病院      |             |             | ○         |       |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 35  | 西部    | 戸塚   | ふれあい東戸塚ホスピタル   |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | —      |
| 36  | 西部    | 泉    | 湘南泉病院          |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 37  | 南部    | 中    | ふれあい横浜ホスピタル    |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 38  | 南部    | 中    | 本牧病院           |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 39  | 南部    | 中    | 横浜掖済会病院        |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 40  | 南部    | 南    | 佐藤病院           |             |             | ○         |       |       | ○  |      |        |          |               | ○      |

| No. | 二次医療圏 | 行政区  | 医療機関名             | 二次救急拠点病院(A) | 二次救急拠点病院(B) | 輪番病院(内・外) | 脳血管疾患 | 急性心疾患 | 外傷 | 精神輪番 | 小児救急拠点 | 輪番病院(小児) | 救命救急センター      | 神奈川県告示 |
|-----|-------|------|-------------------|-------------|-------------|-----------|-------|-------|----|------|--------|----------|---------------|--------|
| 41  | 南部    | 港南   | 横浜東邦病院            |             |             | ○         |       |       |    |      |        |          |               | —      |
| 42  | 南部    | 磯子   | 磯子中央病院            |             |             | ○         | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 43  | 南部    | 金沢   | 金沢文庫病院            |             |             | ○         |       |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 44  | 南部    | 金沢   | 横浜市立大学附属病院        |             |             | ○         | ○     | ○     |    | ○    |        |          |               | ○      |
| 45  | 北部    | 神奈川  | 脳神経外科東横浜病院        |             |             |           | ○     |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 46  | 北部    | 青葉   | 横浜新都市脳神経外科病院      |             |             |           | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 47  | 西部    | 保土ヶ谷 | イムス横浜狩場脳神経外科病院    |             |             |           | ○     |       |    |      |        |          |               | ○      |
| 48  | 西部    | 旭    | 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 |             |             |           | ○     | ○     |    |      |        | ○        | ○             | ○      |
| 49  | 南部    | 南    | 横浜市立大学市民総合医療センター  |             |             |           | ○     | ○     |    | ○    |        |          | ●<br>重症外傷センター | —      |
| 50  | 南部    | 港南   | 秋山脳神経外科・内科病院      |             |             |           | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 51  | 南部    | 磯子   | 横浜市脳卒中・神経脊椎センター   |             |             |           | ○     |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 52  | 南部    | 金沢   | 神奈川県立循環器呼吸器病センター  |             |             |           |       | ○     |    |      |        |          |               | ○      |
| 53  | 西部    | 戸塚   | 戸塚共立リハビリテーション病院   |             |             |           |       |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 54  | 西部    | 瀬谷   | 瀬谷ふたつ橋病院          |             |             |           |       |       | ○  |      |        |          |               | —      |
| 55  | 南部    | 金沢   | 金沢病院              |             |             |           |       |       | ○  |      |        |          |               | ○      |
| 56  | 北部    | 神奈川  | 大口東総合病院           |             |             |           |       |       |    |      |        | ○        |               | ○      |
| 合 計 |       |      |                   | 11          | 13          | 20        | 30    | 22    | 33 | 2    | 7      | 9        | 9             | 51     |



# 横浜市内救急告示医療機関

平成30年2月9日現在

| No. | 二次医療圏 | 行政区 | 医療機関名              | 神奈川県告示 | 内科 | 外科 | 整形外科<br>(脊椎含む) | 泌尿器科 | 皮膚科 | 眼科 | 消化器<br>内科・外科 | リハビリ<br>テーション科 | 神経内科 | 脳神経<br>外科 | 循環器<br>内科 | 呼吸器<br>内科・外科 | 乳腺外科 | 耳鼻咽喉<br>科 | その他診療科                        |
|-----|-------|-----|--------------------|--------|----|----|----------------|------|-----|----|--------------|----------------|------|-----------|-----------|--------------|------|-----------|-------------------------------|
| 1   | 北部    | 戸塚  | 医療生協かながわ生活協同組合戸塚病院 | ○      | ○  | ○  | ○              | ○    |     | ○  |              | ○              | ○    |           |           |              |      |           |                               |
| 2   | 北部    | 鶴見  | 生妻病院               | ○      | ○  | ○  | ○              |      |     |    | ○            |                | ○    |           |           |              |      |           |                               |
| 3   | 北部    | 鶴見  | さいわい鶴見病院           | ○      | ○  | ○  | ○              |      | ○   |    |              |                |      | ○         | ○         | ○            | ○    |           | 糖尿病内科、内視鏡検査、漢方外来              |
| 4   | 西部    | 鶴見  | 徳田病院               | ○      | ○  |    |                |      |     |    |              |                |      |           | ○         | ○            |      |           | 胃腸科、小児科、放射線科                  |
| 5   | 西部    | 鶴見  | 佐々木病院              | ○      | ○  |    | ○              | ○    |     | ○  |              | ○              |      |           |           |              | ○    | ○         | 耳鼻咽喉科、放射線科                    |
| 6   | 西部    | 鶴見  | 平和病院               | ○      | ○  | ○  | ○              | ○    | ○   | ○  |              |                | ○    |           |           |              |      |           | 形成外科                          |
| 7   | 西部    | 神奈川 | 神奈川県済生会神奈川県病院      | ○      |    | ○  | ○              | ○    | ○   | ○  | ○            | ○              |      |           | ○         | ○            |      |           | 糖尿病内科、腎臓内科・外科、総合内科、口腔外科       |
| 8   | 西部    | 金沢  | 神奈川県済生会若草病院        | ○      | ○  | ○  | ○              | ○    | ○   | ○  |              |                | ○    | ○         |           |              |      | ○         | 血管外科・婦人科                      |
| 9   | 西部    | 港北  | 内藤外科胃腸科医院          | ○      |    | ○  |                |      | ○   |    | ○            |                |      |           |           |              |      |           | 肛門科                           |
| 10  | 西部    | 戸塚  | 平成横浜病院             | ○      | ○  | ○  | ○              | ○    | ○   | ○  | ○            |                | ○    |           |           |              | ○    | ○         | 総合診療内科・リウマチ科・歯科・口腔外科、小児科、内視鏡室 |
| 合 計 |       |     |                    | 10     | 8  | 8  | 8              | 6    | 6   | 6  | 5            | 5              | 4    | 4         | 3         | 3            | 3    | 3         |                               |